



RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY EXTENSION CENTER  
酪農学園大学社会連携センター

2020年度 事業報告

2021年5月1日発行



サンディー



# 社会連携センター 2020年度 事業報告

## 目次

### 1. 社会連携センター

(1)ホームページアクセス状況	4
(2)新型コロナウイルス感染拡大に伴う取り組みについて	6
(3)SDGs(持続可能な開発目標)の取り組み推進について	7

### 2. 地域連携課

(1)公開講座	①オープンアカデミー	11
	②協力講座	15
(2)地域総合交流事業	①協定一覧	16
	②協定実績	17
	③地域総合交流協定公開講座	18
	④高大連携協定一覧及び講義・講座	19
	⑤江別市	19
	⑥コープさっぽろ	20
(3)ミルク産業活性化推進事業	①プラスワン牛乳運動	21
	②酪農学園チカホdeマルシェ	21
	③酪農フォトコンテスト	26
(4)その他	①羽幌町	28
	②旭川ガス「ほっと」へのレシピ掲載	28
(5)酪農PLUS+	①アクセス状況	33
	②SNSアクセス状況	43
	③共進会協賛状況	45
(6)新型コロナウイルス感染症によって 中止が決定されたイベント一覧	①本学主催のイベント	46
	②学外主催のイベント	46

### 3. 国際交流課

(1)学術交流協定	47	(11)外国人留学生	60
(2)研究者・研修員・訪問者の受入れ	49	(12)外国人留学生奨学金採用状況	61
(3)学生の受入れ	49	(13)ホームページの多言語化対応について	62
(4)学生の派遣	49	(14)JICA	63
(5)学生の留学についての意識アンケート	50	(15)青年海外協力隊派遣実績	64
(6)アルバータ大学オンライン留学プログラム	51	(16)JSPS 学術国際交流事業	64
(7)カセサート大学オンライン学術交流プログラム	52	(17)北海道アルバータ酪農科学技術交流会	65
(8)トビタテ!留学JAPAN	53		
(9)日本学生支援機構海外留学支援制度(協定 派遣・協定受入)	55		
(10)TOEIC-IP	58		

2020年度社会連携センター運営委員-スタッフ	67
-------------------------	----

# 1. 社会連携センター

## (1) ホームページアクセス状況

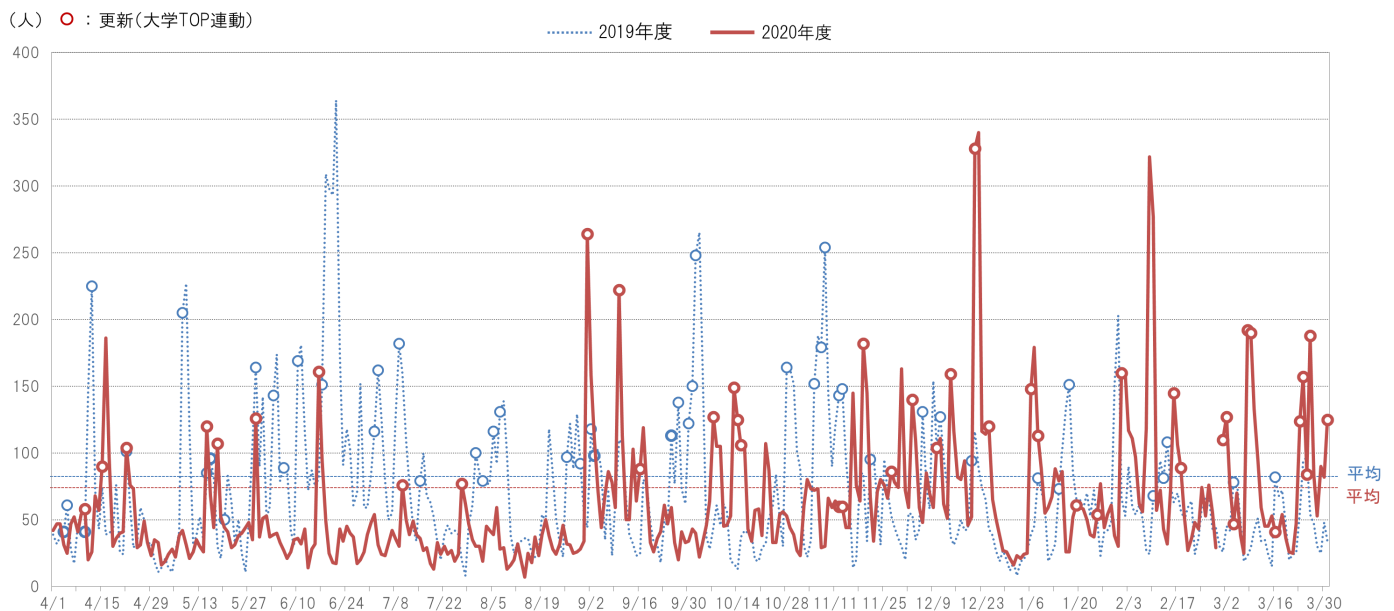
※GoogleAnalyticsではすべてのユーザーの属性、環境などを判別することができないため、各項目の合計値は総アクセス数とは一致しない。

新型コロナウイルス感染症流行の影響で、学生の海外派遣や市民公開講座などの中止が相次いだため、留学報告書や体験談、講座開催報告の投稿数が減少し、全体の閲覧数も2019年度より減少しました。

「酪農フォトコンテスト」特設サイト(ページ)へのアクセスが多い傾向にあったほか、「酪農学園チ・カ・ホdeマルシェ」が道内の情報番組で紹介された2月9日(火)のアクセス数も多くなりました。

### ① 日別アクセス状況

- 総アクセス数 22,554人(前年度-3,244人)
- 日平均アクセス数 62人(前年度-8人)
- 日最高アクセス数 340人(12/22 酪農フォトコンテスト入賞作品発表:学内全教職員への周知)



### ② 地域別アクセス状況

国別では、学生の海外派遣が中止になった影響で、主な留学先であるアメリカやカナダからのアクセスが減少しました。都道府県別、市区町村別では、東京都からのアクセス数は減少しましたが、神奈川県、埼玉県、千葉県などからのアクセスは増加しました。

#### ■ 国別

	国名	アクセス数
1	日本	15,498
2	アメリカ	389
3	(不明)	52
4	カナダ	47
5	タイ	32
6	中国	22
7	ニュージーランド	12
8	ドイツ	11
9	マレーシア	10
10	サウジアラビア	9

#### ■ 都道府県別

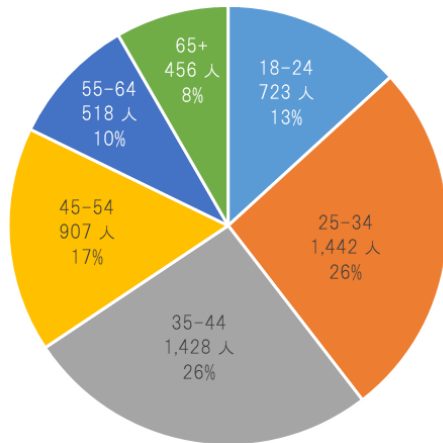
	都道府県名	アクセス数
1	北海道	6,168
2	東京都	2,860
3	神奈川県	1,817
4	大阪府	1,137
5	愛知県	448
6	埼玉県	369
7	千葉県	346
8	宮城県	273
9	兵庫県	254
10	京都府	183

#### ■ 市区町村別

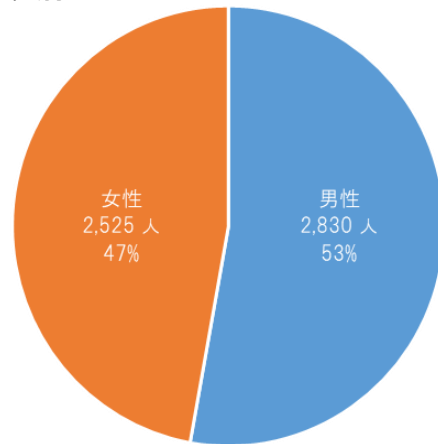
	市区町村名	アクセス数
1	札幌市	3,537
2	江別市	1,611
3	横浜市	1,559
4	大阪市	958
5	港区	723
6	新宿区	589
7	千代田区	402
8	名古屋市	340
9	仙台市	237
10	世田谷区	186

### ③ 年齢・性別アクセス状況

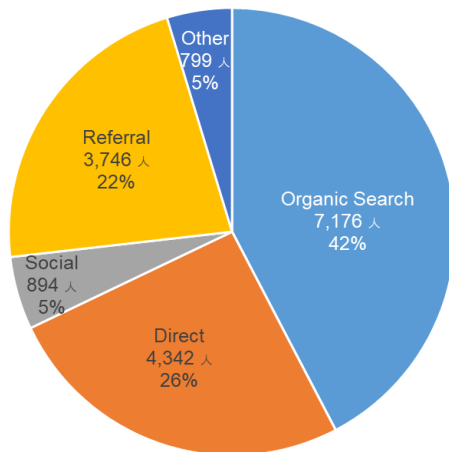
年齢



性別



### ④ 流入経路別アクセス状況



- **Organic Search**  
GoogleやYahooなどの検索サイトから流入
- **Direct**  
ブラウザのブックマークやURL直接入力、QRコードから流入  
※酪農学園大学ホームページからの流入を含む
- **Social**  
FacebookやTwitterなど、ソーシャルメディアから流入
- **Referral**  
他のサイトに貼られた外部リンクから流入

### ⑤ ページ別アクセス状況

酪農フォトコンテスト特設サイトの閲覧数が最も多くなりました。酪農学園子・カ・ホ de マルシェ、大動物臨床教育オンラインセミナーへの関心も高く、公開後短期間で多くの閲覧がありました。

#### 社会連携センター

	ページ名	掲載日	閲覧数
1	酪農フォトコンテスト特設サイト TOPページ	9/1	3,591
2	酪農学園子・カ・ホ de マルシェを開催します	1/6	1,583
3	酪農フォトコンテスト特設サイト 応募作品一覧	9/1	1,345

#### 国際交流課

	ページ名	掲載日	閲覧数
1	留学プログラム	-	1,251
2	TOEICとは	-	672
3	アルバータ大学オンライン留学プログラム 報告書	10/7	602

#### 地域連携課

	ページ名	掲載日	閲覧数
1	公開講座	-	2,312
2	第1回 大動物臨床教育オンラインセミナー ログイン画面	3/8	1,115
3	第1回 大動物臨床教育オンラインセミナー 開催案内	2/1	947

## (2) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う取り組みについて

### 地域連携課

- 2020年7月7日 江別市在住の学生に対して「特別定額給付金」の申請に係る申請期限等の手続きについてメールを発信しました。(江別市からの要請)
- 9月1日 新型コロナウイルス感染症の流行により打撃を受けた酪農・乳業界を応援することを目的に、酪農フォトコンテストを実施しました。  
(応募期間:9月1日～11月30日、詳細は26頁)

### 酪農PLUS+

- 2020年4月3日 外国人技能実習生を受け入れている酪農家の方々への情報提供として、多言語に対応した『新型コロナウイルス感染症の感染予防ハンドブック』を紹介しました。(詳細は42頁)
- 6月3日 本学の大学危機対策本部会議・感染症専門家委員会が作成した、「SARS-CoV2(新型コロナウイルス)の動物への感染に関する情報」を紹介しました。

### 国際交流課

○2019年度に引き続き、外務省や文部科学省などからの関連情報を全教職員に随時配信しました(2020年4月1日～2021年3月31日、9件)。

○2020年6月に札幌国際プラザが開始した食糧支援(新型コロナウイルス感染症の影響で仕事やアルバイトがなくなったり、母国に帰国できず苦しい生活を送る外国人を支援するため、食料の提供を行うプロジェクト)について、6月・7月・11月・12月・2月の計5回、在学留学生に周知、案内しました。その内6月と7月の2回については、本学の希望数を取りまとめ一括で受け取り、申込留学生に配布しました。

- 4月24日 在学留学生に対し、緊急事態宣言などの影響による生活状況の急変についてアンケート実施。12名から、「アルバイトの仕事がなくなった」「アルバイトをやめさせられた」「仕送りが減った」などの回答を得ました。
- 6月13日 緊急事態宣言および構内入構制限継続により、5月16日、6月13日のTOEIC-IP試験(会場実施)を中止し、代替として2020年度より開始されたオンラインによるTOEIC-IP試験を初めて実施しました。以降年度内に全学対象のオンライン試験を合計3回実施しました。
- 7月2日 在学留学生に、新型コロナウイルス感染拡大に伴う特別定額給付金の申請について周知しました。内1名について、本国帰省中であったため、国際交流課にて代理申請しました。
- 12月2日 札幌国際プラザからの、新型コロナウイルスの影響に伴う外国人支援について協力依頼を全教職員に周知しました。
- 1月15日 大学危機対策本部会議にて、新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化する中、留学生の事情を鑑み、社会連携センター長が一定の条件を満たすと判断した場合に限り、本人の責任のもとで一時帰国を認めるよう承認されました。

本国に帰省した留学生への対応

**5件**(学類生**4名**、研究生**1名**)。再入国予定4名の内、3月31日時点で**3名**が再入国済み。

海外留学を理由とする休学願が提出された学生への対応

(学生支援課対応含む):**2件**(**1名**は外務省レベル引き下げ後に渡航する旨確認、**1名**は海外留学による休学取りやめ)

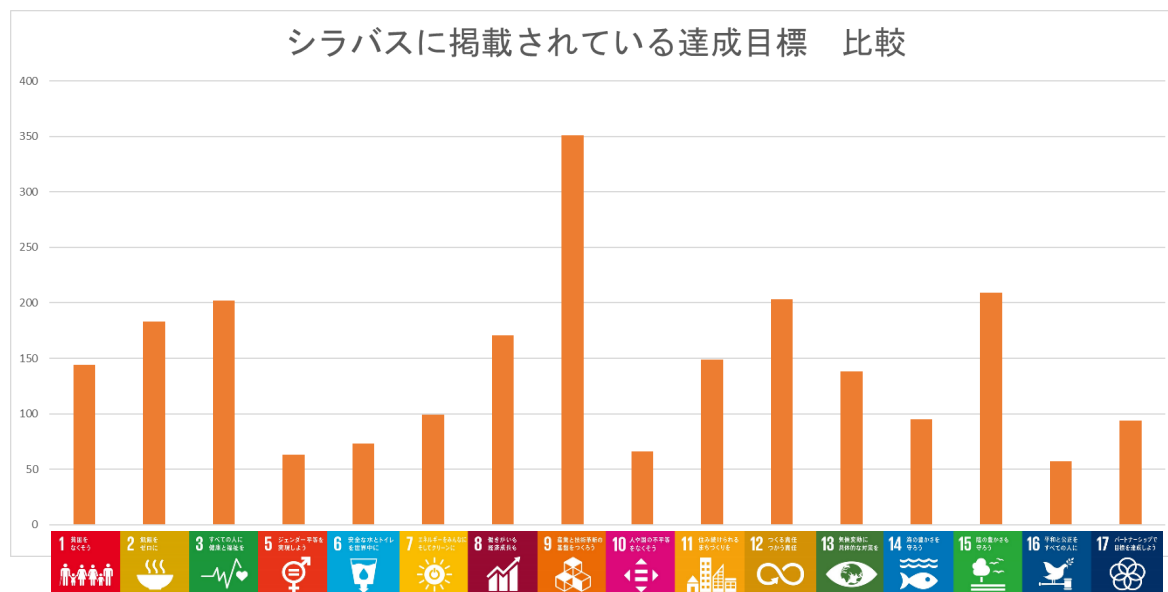
### (3) SDGs (持続可能な開発目標) の取り組み推進について

2019年2月12日付常任理事会において、SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)の取り組み推進が議決され、3月14日評議会において大学として承認されました。

#### ～2020年度進捗状況～

##### ① シラバスへのSDGs追記

→教務課と協力し、講義のシラバスへ授業内容に対応するSDGs項目を追記しました。しかし、すべてのシラバスに追記されていないため、今後本取組の浸透を図ります。



##### ② 教員の研究テーマとSDGs項目のマッピング

→学務課で実施している研究テーマ調査において、対応するSDGs項目を確認する設問を設定いたしました。調査の結果から本学の傾向や課題などが見えてきましたので、今後のSDGsに関する取組へ活用します。

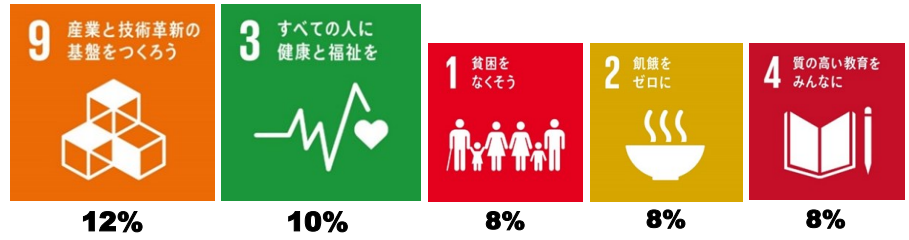
#### 【大学全体】



## 【学類別】

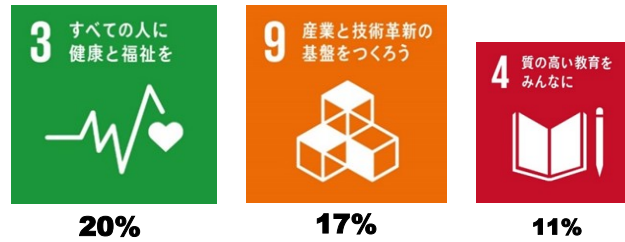
### 【循環農学類】

循環農学類では、49名の教員から回答があり、48名がSDGsにあてはまると回答、目標との合致は228件となり、最も多かったのは「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」であり26件、次いで「3. すべての人に健康と福祉を」23件と続く。



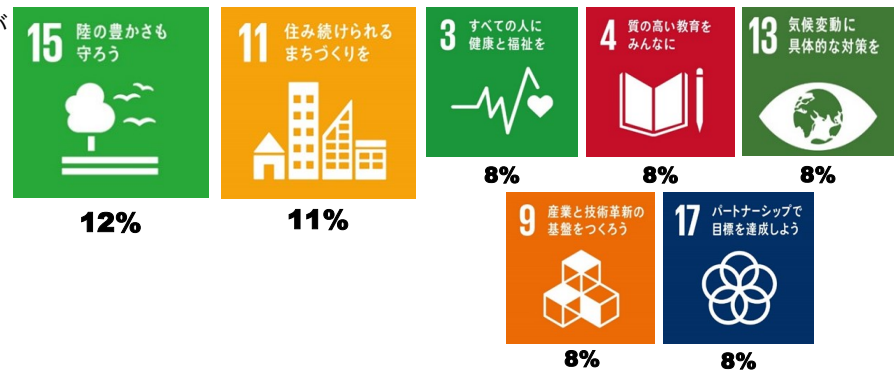
### 【食と健康学類】

食と健康学類では、27名の教員から回答があり、全員がSDGsにあてはまると回答、目標との合致は92件となり、最も多かったのは「3. すべての人に健康と福祉を」であり18件、次いで「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」16件と続く。



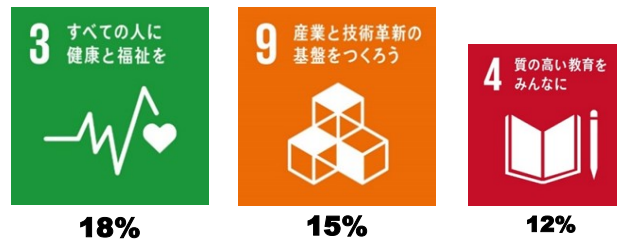
### 【環境共生学類】

環境共生学類では、21名の教員から回答があり、全員がSDGsにあてはまると回答、目標との合致は131件となり、最も多かったのは「15. 陸の豊かさを守ろう」であり16件、次いで「11. 住み続けられるまちづくりを」15件と続く。



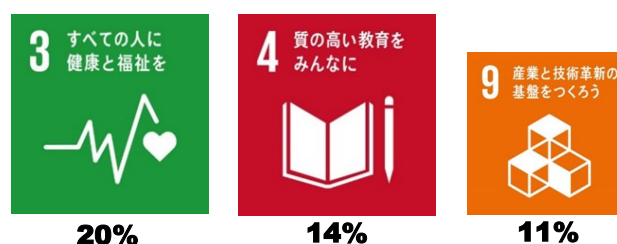
### 【獣医学類】

獣医学類では、48名の教員から回答があり、38名がSDGsにあてはまると回答、目標との合致は130件となり、最も多かったのは「3. すべての人に健康と福祉を」であり26件、次いで「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」20件と続く。



### 【獣医保健看護学類】

獣医保健看護学類では、10名の教員から回答があり、全員がSDGsにあてはまると回答、目標との合致は36件となり、最も多かったのは「3. すべての人に健康と福祉を」であり8件、次いで「4. 質の高い教育をみんなに」5件と続く。





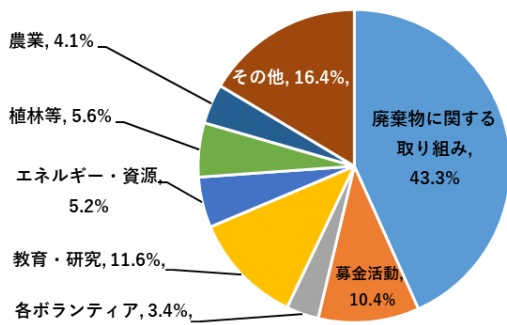
### ③ キャリアベーシックでのSDGsに関する講義

→キャリアデザインの授業でSDGsに関する講義を行い、講義の感想やSDGsについてのアンケートを取りました。

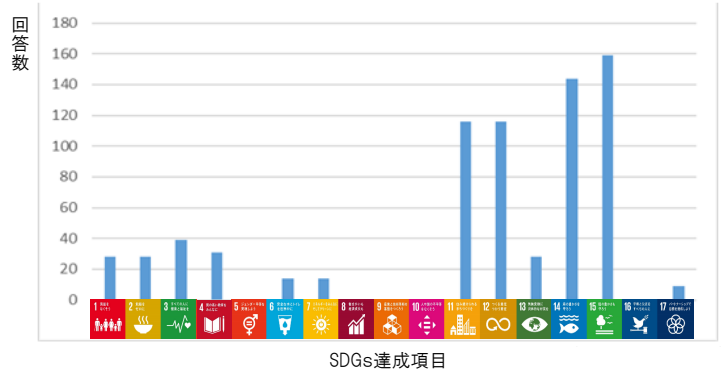
「SDGsについて知っていますか?」という質問に対し、「知っている」「少し知っている」と答えた学生は循環農学類55.7%、食と健康学類66.3%、環境共生学類69.0%となりました。調査当時、SDGsの認知度は平均で30~40%(東京都と神奈川県15~69歳までを対象とした朝日新聞社による調査のうち15~29歳までの数値)であったため平均よりも高水準であったことがわかります。

また、「これまでの活動でSDGsにつながるものは何ですか?」という質問に対し、以下のような回答を得ました。

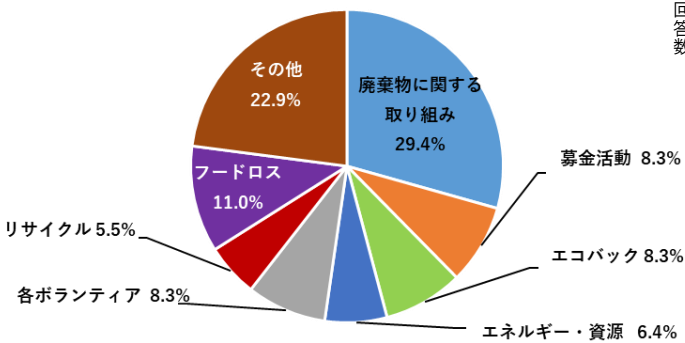
これまでの活動 循環農学類



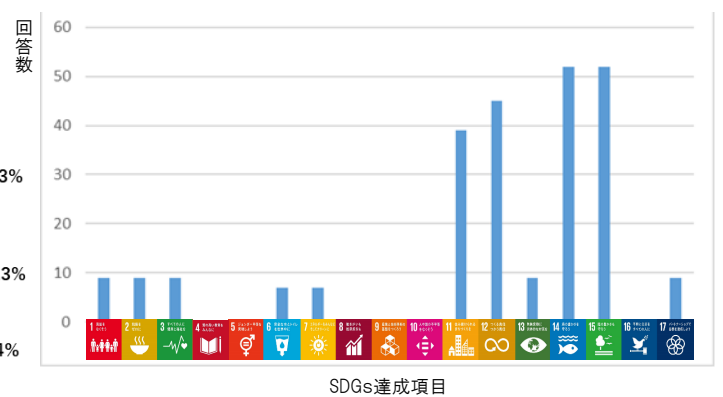
SDGs分布(これまでの取組) 循環農学類



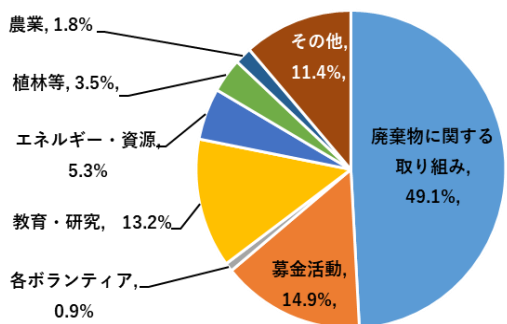
これまでの活動 食と健康学類



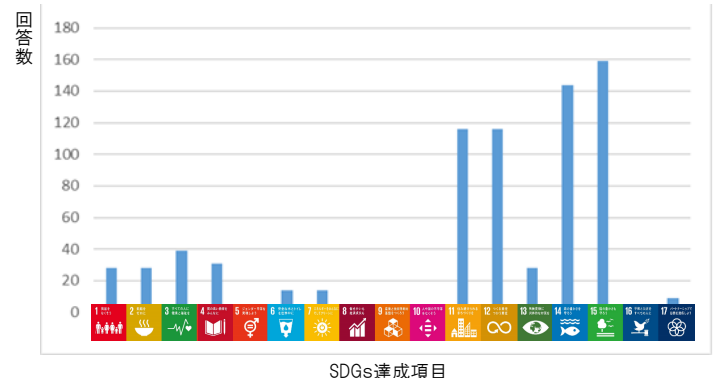
SDGs分布(これまでの取組) 食と健康学類



これまでの活動 環境共生学類



SDGs分布(これまでの取組) 環境共生学類



- ※ 廃棄物に関する取り組み: 地域のごみ拾い、ごみの分別、などの回答をまとめた項目です。
- ※ エネルギー・資源: 節電や節水に関する回答をまとめた項目です。
- ※ 農業: 農業バイトや農業体験、健土健民実習などの回答をまとめた項目です。

このことから学生主体の活動では8.(働きがいも経済成長も)9.(産業基盤を作ろう)、16.(平和と公正をみんなに)、17.(パートナーシップで目標達成を目指そう)へアプローチすることが難しいことがわかりましたので、これらを網羅できるような取り組みを企画していきます。

④ SDGsに関する講演(ふるさと江別塾 10月24日)

→10月24日に本学で開催されたふるさと江別塾(江別市教育委員会)にて、SDGsに関する講演を行いました。講師は環境共生学類吉中准教授が務め、52名の受講者に対してお話ししました。

演 題:“2030 Agenda” and “COVID-19”(「持続可能な開発のための2030アジェンダ」と新型コロナウイルス)

内 容:「われわれの世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」が国連サミットで合意されて5年経過しました。「持続可能でよりよい世界」「誰一人取り残さない社会」を2030年までに実現するために世界を「変革」しようという目標達成に向けた進捗状況はどうなっているのでしょうか?新型コロナウイルスの世界的大流行はその追い風となっているのでしょうか?それとも強い逆風?そんなことを皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

⑤ 出力環境見える化調査

→本学の事務組織で持っている出力機器(コピー機、FAX、複合機など)をすべて調査し、学内出力機器の配置や出力状況などを調査しました。調査の結果、学内では出力機器の適正な配置がされておらず余分な電力を使用していることや用紙の過剰使用などが確認されましたので、今後は出力機器の適正配置など出力環境を整備することで消費エネルギーの削減や用紙の消費量を減少に向けて取り組みを進めます。

⑥ 飲食環境 PETボトルリサイクルアンケート

→本アンケートでは学生のリサイクルに対する意識や本学の飲食環境に対する意見などを調査しました。(回答数 **139名**)  
今回得られた回答は今後北海道コカ・コーラボトリングとの連携のなかで活用し、資源再利用や学内飲食環境の満足度向

⑦ JMILK主催「戦略ビジョン推進特別委員会・酪農乳業SDGs推進ワーキングチーム」への参加

→上記ワーキングチームに参加し以下研究について勉強しました。

- 1 畜産環境をめぐる情勢
- 2 酪農における環境負荷の現状について
- 3 酪農における環境負荷:実態・課題・必要な取り組み
- 4 酪農における環境負荷を減らすための取り組みと課題～気候変動緩和のために～

⑧ RICOHセミナーの受講

→RICOHでSDGsを始めることとなったきっかけやRICOHのSDGs推進方法が紹介されたセミナーに参加しました。今後、教員・職員・学生の全体を巻き込んだ企画を実現することに活用していきたいと考えています。

～北海道SDGs推進プラットフォーム～

2020年9月24日(木) 第3回SDGs研究会

2021年2月17日(水) 第4回SDGs研究会

～北海道SDGs推進ネットワーク～

2020年 9月10日(木) SDGsの推進に関するアンケートへ回答

各種情報提供あり(7月15日、8月6日、1月14日、1月21日、2月1日、2月16日、3月29日)



## 2. 地域連携課

### (1) 公開講座

#### ① オープンアカデミー

##### 酪農学園大学市民公開講座【93名】

本学は、研究成果を広く一般の方々や卒業生等へ提供し役立てていただくことを目的として、「市民公開講座」を開講しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため多くの講座を中止しましたが、感染対策を行い3講座を開催しました。

開催日	講座名	講師	受講料	定員	受講者
5月17日(日)	園芸学講座 「花の見方・楽しみ方―百合が原公園で チューリップとムスカリを楽しもう―」	森 志郎	1,000円	30名	中止
5月23日(土)	食育講座 「生きものと食べもの～生命と食を考える」 「乳からチーズへー作る技術と美味しさの秘密―」	石井 智美 竹田 保之	無料	50名	中止
5月31日(日)	円山動物園体験講座 「熱帯に生きるゾウやオランウータンの 野生での暮らしを考える」	金子 正美	1,000円	40名	中止
6月27日(土)	ペットの健康講座 「ペットの健康―これって、目の病気?―」	前原 誠也	1,000円	50名	中止
8月 1日(土)	理科実験講座 「生き物の設計図・DNAを取り出してみよう」 「遊びながら学ぶ、水を使った楽しい実験」	佐藤 元昭 中谷 暢丈	1,000円	50名	中止
10月 3日(土)	ペットの健康講座 「ペットの健康―これって、病気のサイン?―」 「ペットの栄養―ライフステージに あわせてごはんとおやつ―」	井坂 光宏 宮庄 拓	1,000円	50名	中止
10月17日(土)	ドローン講座 「ドローンを飛ばして空から大地をみてみよう」	金子 正美	1,000円	15組	中止
11月 7日(土)	気象学講座 「天気予報のみかたと防災について―北海道の冬編―」	馬場 賢治	1,000円	50名	29名
11月21日(土)	運動講座 「体格・体組成の改善に向けた測定と筋トレ実践」	山口 太一 柴田 啓介	1,000円	30名	中止
12月13日(日)	野生動物講座 「2020年のクマ動向―札幌圏のヒグマを中心に―」 「どうなってるの?野幌のエゾシカ」	佐藤 喜和 伊吾田宏正	1,000円	50名	34名
2月27日(日)	家庭菜園講座 「自宅の菜園土壌の健康(養分)状態を知ろう!」 「ジャガイモの来歴と適した栽培方法について」	澤本 卓治 亀岡 笑	1,000円	50名	30名

## 開催された講座の様子

### 気象学講座



環境共生学類の馬場賢治准教授の講座では、我々が見ている天気予報は番組や掲載されている媒体ごとに違いがあると話され、違いができる理由や天気予報が気象庁から発出される時間などについて説明されました。

### 野生動物講座



環境共生学類の佐藤喜和教授の講座では、昨年話題となった「アーバンベア」特に札幌市南区や江別市にて確認されたクマについての振り返りなどを行いました。



環境共生学類の伊吾田宏正准教授の講座では、初めにシカの基本的な生態について説明したのち、エゾシカの大きさや個体数など、調査結果を踏まえながら解説しました。

### 家庭菜園講座



循環農学類の澤本卓治教授の講座では、良い土壌の条件や植物の生育障害をもたらす要因の解説など、講演終盤には一部受講者に事前にご送付いただいた土壌の分析結果をもとに、今後どのような土づくりをすればよいかを解説しました。



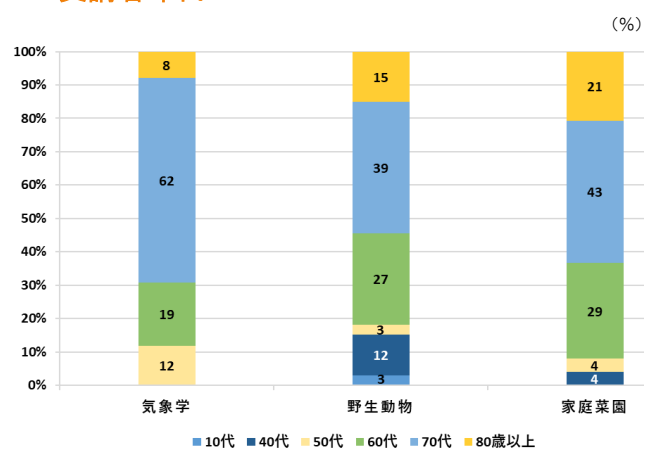
循環農学類の亀岡笑講師の講座では、どのように世界中にジャガイモが広まっていったのかなど、ジャガイモの栽培方法についてジャガイモの来歴などと関連付けて説明しました。

酪農学園大学市民公開講座アンケート集計結果(回答者数87人)

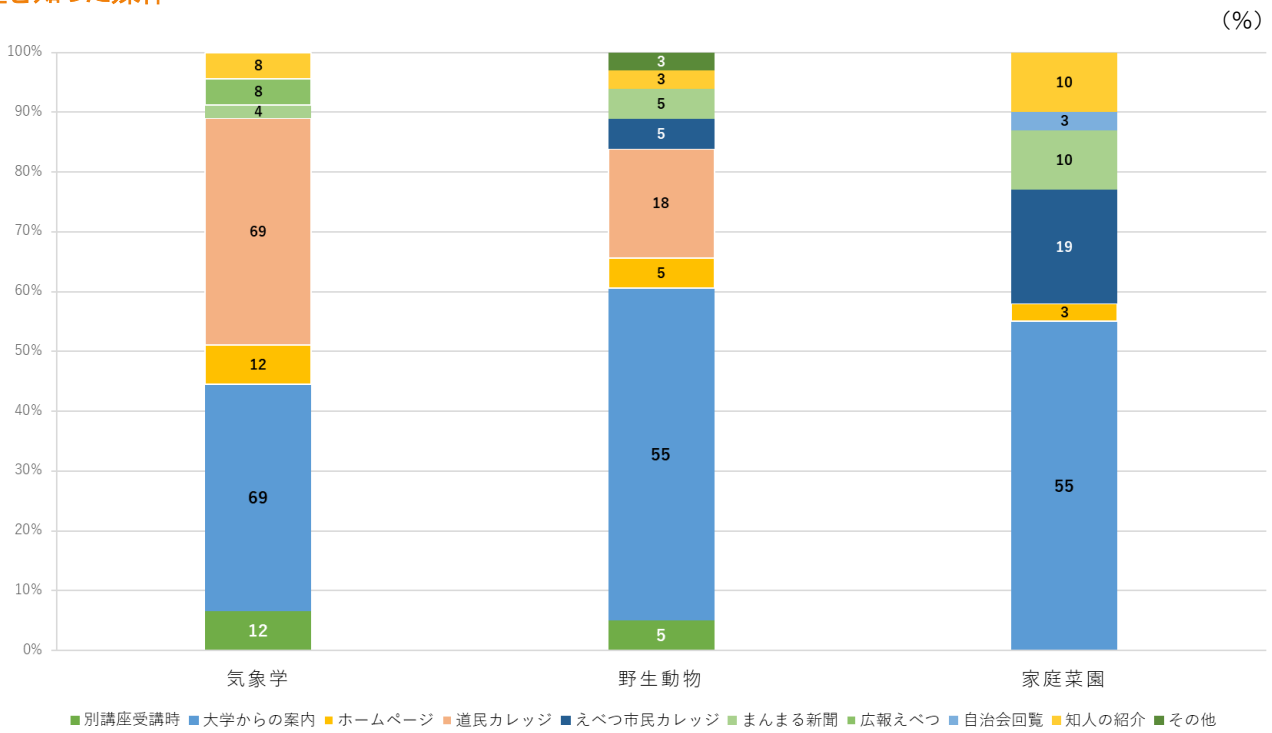
受講者男女比



受講者年代



講座を知った媒体



講座満足度

	説明						資料						内容					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	無回答	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	無回答	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
馬場先生	54	23	8	8	0	8	35	8	19	19	8	12	42	19	12	8	0	19
佐藤先生	76	9	3	0	0	12	50	21	12	0	0	18	65	12	3	0	0	21
伊吾田先生	38	21	15	0	0	26	45	12	15	0	0	27	39	18	12	0	0	30
澤本先生	93	0	7	0	0	0	89	4	7	0	0	0	86	7	7	0	0	0
亀岡先生	71	11	4	4	0	11	75	11	0	4	0	11	64	21	0	4	0	11
全体	69	13	7	2	0	11	59	11	11	5	2	13	59	16	7	2	0	16

## 酪農公開オンライン講座(酪農公開講座)【事前申込不要、随時視聴可能】

全国の酪農生産者および酪農関係者を対象に、本学の研究成果を直接酪農家へフィードバックすることを目的に北海道内および都府県で各1回の「酪農公開講座」を開講しています。2020年度は新型コロナウイルスの状況を鑑み、オンラインで開催しました。

公開日	講座名	講師	開催地	定員	視聴数
3月25日(木)	第1回酪農公開オンライン講座(第59回酪農公開講座) 「農場におけるバイオセキュリティを考える ～地域の畜産衛生管理について～」	高橋 俊彦	オンライン	なし	52回

## 酪農学園大学公開講座【25名】

本学の研究成果を生産者や関係機関、全国の消費者の方々に向けて発信することを目的に、都府県で開催してきた「酪農学園大学公開講座」を2020年度初めて道内で開講しました。

開催日	講座名	講師	開催地	定員	受講者
11月14日(土)	第15回酪農学園大学公開講座『発酵食品の魅力』 「乳からチーズへ作る技術と美味しさの秘密」 「北方系小果樹アロニアとシーベリーの発酵による 食味改善と機能性食材の応用」	竹田 保之 山口 昭弘	旭川市	60名	25名

## 大動物臨床教育セミナー(オンライン)【164名事前申込】

例年、大動物臨床研究会と合同企画で、獣医師、学生、関連企業を対象に、卒後臨床教育事業の一環として、1日目に大動物臨床研究会主催の「大動物臨床研究会特別セミナー」を、2日目に本学社会連携センター主催の「大動物臨床教育セミナー」を開催しています。

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月に対面で開催予定だったセミナーは中止となりましたが、3月にオンラインで開催しました。

開催日	講座名	講師	受講料	視聴数
3月8日(月)	第1回大動物臨床教育オンラインセミナー(第24回大動物臨床教育セミナー) 「北海道における草地と土壌の管理(その1)」	三枝 俊哉	無料	181回
～	「北海道における草地と土壌の管理(その2)」			104回
3月29日(月)	「牛マイコプラズマ感染症～病原体メカニズムに迫る～」	権平 智		207回

## ② 協力講座

### 元気！ミルク大学

例年北海道牛乳普及協会、ホクレン農業協同組合主催で小学生が大学構内に宿泊して、乳牛の生態や酪農家の一日など多くのことを学ぶ場として開催されていますが、2020年度については新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、中止となりました。

その代替として本学教員の講演を放映するという形式で実施されました。

番組名： テレビで、学ぼう「元気！ミルク大学」

放送日： 2020年9月6日(日)

局名： HBCテレビ

内容： 今年の「元気！ミルク大学」は新型コロナウイルス感染症の影響で、テレビを通しての授業となりました。牛乳大好きな佐藤アナウンサーが子どもたちに代わって、牛乳や酪農について酪農学園大学の先生たちに教えてもらいます。牛は良質な牛乳を生み出すために、どんなエサを食べているのか？搾乳作業で大事なことは？牛にできるだけストレスをかけないための研究とは？さらに酪農家を訪ねて実習もしました。

・ミルクができるまで

講師：中辻 浩喜

・牛の気持ち

講師：森田 茂

・牛の1日とえさ

講師：泉 賢一

・搾乳

講師：泉 賢一



### ふるさと江別塾【52名】

江別市と江別市教育委員会が主催となり、大学の「知」を生かし、まちづくりや身近な問題の学習機会として、市内四大学が連携して実施する「ふるさと江別塾」の第3回を10月24日に開催し、近郊の一般市民**52名**が受講しました。

講義1 「“2030 Agenda” and “COVID-19”(「持続可能な開発のための2030アジェンダ」と新型コロナウイルス)」

講師：吉中 厚裕

講義2 「江別らしい緑地を育てるには」

講師：松山 周平



## (2) 地域総合交流事業

### ① 協定一覧

No.	協定機関	協定調印日	協定内容
1	浜中町	2005.02.24	地域総合交流
2	栗山町	2007.02.26	地域総合交流
3	西興部村	2007.05.21	地域総合交流
4	公益財団法人 道央農業振興公社	2007.10.31	地域総合交流
5	江別市 市内3大学 江別商工会議所	2009.02.05	包括連携
6	江別市・道総研 食品加工研究センター	2009.03.10	包括連携
7	北海道大学	2009.06.04	知財等連携
8	洞爺湖町	2009.07.29	地域総合交流
9	公益財団法人 北海道農業公社	2010.01.14	包括連携
10	北海道ホルスタイン農業協同組合 公益社団法人 北海道酪農検定検査協会 一般社団法人 ジェネティクス北海道	2010.02.19 (2013.02.19変更)	包括連携
11	コンサベーションインターナショナル ESRIジャパン株式会社 NPO法人EnVision環境保全事務所	2010.06.03	包括連携
12	公益財団法人 札幌市公園緑化協会	2010.08.18	連携協力
13	滝上町	2010.09.10	地域総合交流
14	北海道情報大学	2011.03.10	大学教育・研究連携
15	標茶町 標茶町農業協同組合 北海道標茶高等学校	2011.04.13	地域総合交流
16	公益財団法人 知床財団	2011.06.15	包括連携
17	占冠村	2011.06.06	地域総合交流
18	旭川市(旭山動物園)	2011.09.05	包括連携
19	遠軽町 湧別町 佐呂間町 オホーツク農業共済組合 えんゆう農業協同組合 湧別町農業協同組合 佐呂間町農業協同組合	2012.06.25 (2013.03.18変更)	地域総合交流
20	株式会社北海道銀行	2012.10.02	包括連携
21	札幌グランドホテル	2012.10.31	包括連携
22	北海道※ 学校法人酪農学園との協定	2014.10.30	包括連携
23	中標津町 中標津町教育委員会 中標津町農業協同組合 計根別農業協同組合 北海道中標津農業高等学校	2015.02.23	地域総合交流
24	北海道科学大学・北海道科学大学短期大学部	2015.03.16	包括連携
25	札幌市	2015.07.09	連携協力
26	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構	2016.01.29	連携協力
27	一般財団法人 北海道農業協同組合学校	2017.03.16	包括連携
28	北海道ワイン株式会社	2017.09.20	包括連携
29	生活協同組合コープさっぽろ	2017.09.21	包括連携
30	みなみ北海道農業共済組合 北海道中央農業共済組合 十勝農業共済組合 北海道ひがし農業共済組合 オホーツク農業共済組合	2019.02.22	包括連携
31	梨湖フーズ株式会社	2019.09.27	包括連携
32	学校法人高橋学園 札幌どうぶつ専門学校	2020.03.23	包括連携
33	浜頓別町	2021.03.20	地域総合交流





## ② 協定実績

No.	協定先	事業内容
2	栗山町	地域総合交流協定公開講座を栗山町「町民講座」と連携して実施し、本学より大谷克城教授、山口太一教授が講演を行った。当日は24名が参加し、健土健民牛乳も配布した。
5	江別市・市内3大学・江別市商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林木育種場に関する打診</li> <li>・えべつ市民環境講座(9月30日分) 本学浅川教授講演</li> <li>・特別定額給付金における申請促進協力</li> <li>・ふるさと江別塾の実施(10月24日分)</li> <li>・新型コロナウイルス感染症に関する集中対策期間のポスター掲示(4月8日～5月6日)</li> <li>・ジモガクの学生募集</li> <li>・本学長村講師が企画した「江別きな粉フェア(8月1日～8月31日)」への協力</li> <li>・新型コロナウイルスに関する警戒ステージ2への移行を受けた、感染予防の取組呼びかけ</li> <li>・警戒ステージ3への移行を受けた感染予防の取組依頼、注意喚起</li> <li>・教職実践演習にて江別市農業振興課の職員が講演(10月7日、本学参加者学生10名)</li> <li>・2020年度から新たに企画された「えべつ愛事業」に関する協力依頼</li> </ul>
8	洞爺湖町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧成香小学校の駐車場を近隣の工事のため使用したいとの連絡があり承諾</li> <li>・洞爺湖生物多様性シンポジウムにて本学教員と学生5名が調査研究発表会</li> </ul>
9	(公財)北海道農業公社	金子教授・小川准教授の受託研究成果である教育教材動画を酪農PLUS+に掲載
10	北海道ホルスタイン農業協同組合、(公社)北海道酪農検定検査協会、(一社)ジェネティクス北海道	家畜繁殖技術論、家畜管理・栄養学実験Ⅰ、家畜繁殖技術論、家畜育種学、受精卵移植論、肉用家畜飼養学実習、家畜管理・栄養学実験Ⅱ、家畜育種繁殖学実験、泌乳生理学にて、(一社)ジェネティクス北海道、北海道ホルスタイン農業協同組合、(公社)北海道酪農検定検査協会より講師を派遣
13	滝上町	滝上町錦仙峡における植生調査と調査結果をまとめたパンフレットの作成依頼があり、受託研究として実施(環境共生学類 松山准教授、2022年2月まで研究が継続する予定)
17	占冠村	本大学内にオンライン会場拠点を設け、本学共催による第3回占冠村ヒグマミーティングが開催された。ヒグマほか野生鳥獣に関わる研究・報告について本学教員と学生が発表した(2月20日、本学より12名参加、受講者26名)。
18	旭川市(旭山動物園)	第15回酪農学園大学公開講座(会場:旭川市民文化会館)にて後援をいただいた(旭川市)
19	遠軽町・湧別町・佐呂間町、オホーツク農業共済組合、えんゆう農業協同組合、佐呂間町農業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月16日に今後の連携に向けて打ち合わせを行った(えんゆう出席者:馬場監事、澤口部長、増田理事 本学出席者:及川学群長、樋口学類長、岩野教授、大塚准教授)。勉強会などの依頼があった。</li> <li>・湧別町役場健康こども課にて、食と健康学類管理栄養士コース4年生の臨地実習を実施</li> <li>・湧別町役場健康こども課にて、食と健康学類管理栄養士コース3年生の公衆栄養学実習Ⅱの科目として5日間の実習を実施した。実習では、主に行政栄養士の業務や町の保健活動などについて講義や見学(一部実施)を通して学んだほか、町内のヘルシー Spoon 会にて健康講話も実施した。なお、次年度は遠軽町での実習を予定している。</li> </ul>
22	北海道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家アルバイトの募集依頼</li> <li>・獣医学類「ハードヘルス学」に講師を派遣していただいた</li> <li>・獣医学類「衛生環境学特論」に講師を派遣していただいた</li> <li>・獣医学類「動物衛生学総論」に講師を派遣していただいた</li> <li>・例年実施している北海道と包括連携協定を締結している団体のパネル展示に協力した</li> <li>・第15回酪農学園大学公開講座にて後援をいただいた</li> <li>・空知総合振興局の依頼で「令和2年度新規就農者等研修会」へ講師(吉岡准教授、亀岡講師)を派遣した</li> <li>・オホーツク総合振興局の依頼で「農福連携セミナー」へ講師(義平教授)を派遣した</li> <li>・酪農学園子・カ・ホdeマルシェにて後援をいただいた(2月9日-10日実施)</li> </ul>

No.	協定先	事業内容
25	札幌市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌市ヒグマ対策委員会にて書面会議を行った(4月)</li> <li>・札幌市内の森林におけるヒグマの生態調査を行った(6月～11月)</li> <li>・札幌市内豊平川河畔林整備活動を行った(8月9日)</li> <li>・さっぽろヒグマ基本計画改定検討委員会に参加した(3月)</li> <li>・円山動物園の干支展へ協力した(12月14日～1月5日)</li> <li>・円山動物園の70周年記念の動画用写真を提供した</li> <li>・連携協議会の実施(8月19日)</li> </ul>
26	地方独立行政法人北海道立総合研究機構	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第15回酪農学園公開講座にて後援をいただいた</li> <li>・個別企業説明会の実施(9月14日、28名申込、25名参加)</li> <li>・道総研10周年記念フォーラムに出席(10月28日)</li> </ul>
28	北海道ワイン株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・醸造用ブドウの管理作業に対する指導・助言をいただいた</li> <li>・本学の名称がついたワインの製造・販売(主体:北海道ワイン)</li> <li>・学内栽培ブドウの剪定・防除・収穫を行い、大学ワインの醸造に用いた(9月22日)</li> </ul>
29	生活協同組合コープさっぽろ	健土健民牛乳を5店舗で販売している。
30	北海道農業共済組合連合会及び道内5農業共済組合	2019年度の実績と2020年度の活動について会議を実施した(10月8日)
31	梨湖フーズ株式会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チーズホエーの利用に関する助言(8月7日打ち合わせ、対応:竹田先生、栃原先生)</li> <li>・たい肥づくりに関する助言(8月17日、対応:飛谷先生)</li> <li>・たい肥づくりの現状を確認するため白老の徳寿ファームを視察(9月10日、出張者:飛谷先生)後日、持ち帰ったたい肥の水分量を測定し報告した。</li> <li>・たい肥づくりの参考としてもらうべく、飛谷先生が帯広の会社を紹介した</li> <li>・企業説明会実施(10月26日 業界セミナー 本学学生3名参加、10月28日 個別セミナー)</li> <li>・本学から徳寿ファームへ1名就職することが決定した(循環農学類)</li> </ul>

### ③ 地域総合交流協定公開講座

新規事業として本学と地域総合交流協定を締結している自治体にて「地域総合交流協定公開講座」を実施することとなり、2020年度は以下の2か所で開催しました。

#### (1) 栗山町

実施日 2021年2月13日(土)

場 所 栗山町総合福祉センター「しゃるる」

受講者 **23名**

テーマ「食と運動で免疫力UP! コロナに負けない体づくり」

講演1「免疫力を高める食事のポイント!」

講師:農食環境学群 食と健康学類 教授 大谷 克城

講演2「運動で免疫力UP!」

講師:農食環境学群 食と健康学類 教授 山口 太一

#### (2) 浜頓別町

実施日 2021年3月20日(土)

場 所 浜頓別町道の駅交流館

受講者 **約50名**

講演1「世界とつながる『どこでもドア』」

講師:社会連携センター センター長 吉中 厚裕

講演2「浜頓別町における環境地球化学研究室の10年の歩み」

-フィールド教育研究や子どもたちとの環境教育、ボランティア活動を振り返って-

講師:農食環境学群 環境共生学類 教授 吉田 磨



## ④ 高大連携協定一覧及び講義・講座

### 協定一覧

No.	協定高校	協定調印日	協定内容
1	北海道清水高等学校	2008.02.18	高大連携事業
2	北海道士幌高等学校	2008.07.31	高大連携事業
3	北海道札幌東高等学校	2009.03.06	高大連携事業
4	札幌市立高等学校9校	2009.03.16	高大連携事業
5	北海道岩見沢農業高等学校	2013.03.25	高大連携事業

### 講義・講座

#### 札幌東高等学校

2009年に協定を締結し(2017年に更新)、例年定時制の生徒を対象に、本学環境共生学類の教員7~8名が現地で「環境講座」を実施しています。

日時	所属	講師	テーマ
10月 6日(火)20:35~21:15	環境共生学類	押 谷 一	「廃棄されるプラスチックの行方」
10月13日(火)20:30~21:15	環境共生学類	伊 吾 田 宏 正	「エゾシカの生態」
10月20日(火)20:30~21:15	環境共生学類	鈴 木 透	「植物をドローンとVRで調べる方法」
10月27日(火)20:30~21:15	環境共生学類	保 原 達	「土と物質循環」
11月10日(火)20:30~21:15	環境共生学類	吉 田 磨	「科学を使って地球を理解しよう」
11月17日(火)20:30~21:15	環境共生学類	中 谷 暢 丈	「水をつかむ！」
12月 1日(火)20:30~21:15 →新型コロナウイルス感染症蔓延予防のため中止	環境共生学類	中 谷 暢 丈	「科学を使ったフィールドワークと化学分析」
12月 15日(火)20:30~21:15 →新型コロナウイルス感染症蔓延予防のため中止	環境共生学類	星 野 弘 方	「モンゴル国の異なる環境における家畜の行動パターンと草原利用の比較」 「モンゴルのオオカミと遊牧民の関係からみる北海道へのオオカミ再導入の可能性について」
12月 15日(火)21:05~21:15			修了式(修了者7名に対して修了証を授与)

## ⑤ 江別市

江別市生活環境部環境室環境課より依頼があり、「えべつ市民環境講座」にて本学教員が講演しました。

実施日 2020年9月30日(水) 14:00~15:30

場 所 野幌公民館

参加者 **28名**

講 演 「傷ついた野生動物を見かけたら~正しい知識を持っていますか?~」

講師: 獣医学群 獣医学類 教授 浅川 満彦



## ⑥ コープさっぽろ

販売店舗	各週販売個数	納品本数	販売本数	入荷から完売までの平均日数 <sup>※</sup>
LUCY	32本	1,440本	1,440本	前期約3.2日/後期約2.8日
Socia	15本	675本	674本	前期約4.2日/後期約4.4日
平岡	15本	675本	675本	前期約4.1日/後期約4.6日
川下	8本	360本	358本	前期約4.2日/後期約4.6日
野幌	20本	900本	898本	前期2.6日/後期約3.5日
えべつ	10本	450本	450本	前期約4.2日/後期約4.1日
合計	100本	4,500本	4,495本	約3.9日

※ 完売しなかった週は完売まで7日として計算している

コープさっぽろとの連携協定に基づき、本学の理念である健土健民という考え方を多くの方に知っていただくことを目的に、2019年7月から「健土健民牛乳」を販売しております。  
現在は、Lucy店、Socia店、平岡店、川下店、野幌店、えべつ店の6店舗で販売しています。



### (3) ミルク産業活性化推進事業

#### ① プラスワン牛乳運動

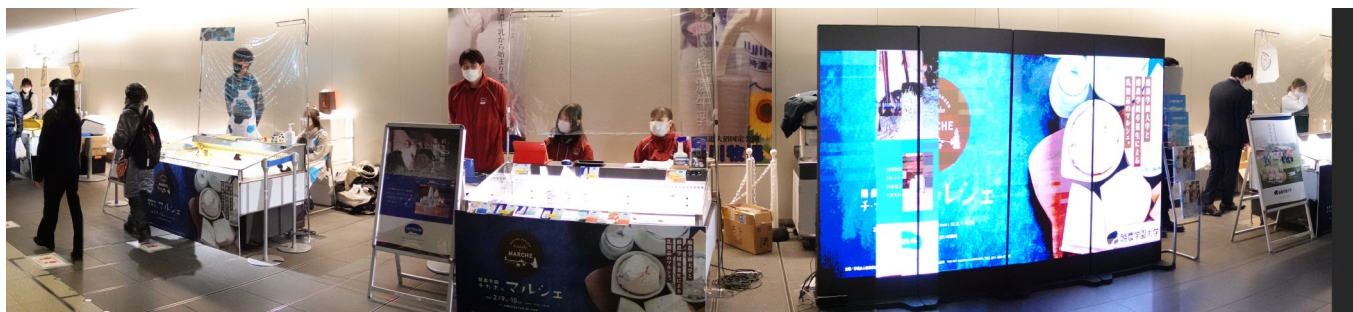
健土健民牛乳・配布数

開催日	イベント	健土健民牛乳
2月13日(日曜日)	地域交流協定公開講座/栗山町	50本
3月20日(日曜日)	地域交流協定公開講座/浜頓別町	80本
合 計		130本

例年、プラスワン牛乳運動として牛乳を提供している、春と秋の食生活改善週間をはじめ、各種イベントが新型コロナウイルス感染症の影響で中止になり、健土健民牛乳や酪農アイスを配布する場が少なかったですが、今年度より実施している地域交流協定公開講座で配布することができ、協定先の地域の方々に本学の牛乳を知っていただくことができました。

#### ② 酪農学園チ・カ・ホ de マルシェ

酪農学園大学の乳製品および卒業生が製造した乳製品を2日間チ・カ・ホ(札幌駅前通地下広場憩いの空間)にて販売しました。会場構成は乳製品販売ゾーンと酪農フォトコンテストゾーンからなり、2日間で約**5,700名**が来場し、乳製品販売ゾーンの卒業生ブースは午前中に売り切れてしまうほど関心を集め、来場者からは定期的に開催してほしいという声が多く上がりました。乳製品販売ブース中央にはLEDサイネージを設置し、本学のPR動画と卒業生各社のPR動画を流しました。たくさんの方が足を止めて視聴してくれました。また、酪農フォトコンテストゾーンでは約**430名**の投票がありました。



当初12月の開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の流行拡大から2月に延期し、各ブースには飛散防止シートの設置、販売スタッフはマスク着用、体調管理、手指消毒を徹底し、接客に臨みました。

本学はバター、チーズ(ゴーダチーズ、クリームチーズ、カマンベールチーズ)を出品し、卒業生からは、牛乳、コーヒーマルク、チーズ(チェダーチーズ、モッツアレラチーズ、カマンベールチーズ、ゴーダチーズなど)、ヨーグルト、ミルクジャム、スイーツなどの出品がありました。



実際に出店した卒業生からは、「新型コロナウイルス感染症の流行のため、販売するイベントが少なくなっていたが、実際に対面販売しお客様に喜んでもらえてよかった。」「デパートの催事より売れる。」「母校のためにまた力になりたい。この機会に感謝します。」との声がありました。



購入者にエコバッグを配布、酪農フォトコンテスト投票者にはクリアファイルまたは付箋を配布しました。

開催日 2月9日(火)～10日(水)

会場：札幌駅前通地下広場 憩いの空間

後援：北海道

出店企業：(株)宇野牧場、(株)オホーツクファーム喜多牧場、(有)山川牧場自然牛乳

(株)アンジュ・ド・フロマージュ、(株)ジャパチーズ、酪農学園大学

(有)十勝しんむら牧場※、(株)長沼あいす※、(有)鈴の鳴る道※

※は商品のみ出品

## 出店企業



### (株)宇野牧場 〈天塩町〉

代表取締役 宇野 剛司

(酪農学園大学酪農学部農業経済学科卒)

出品商品

- ・宇野牧場史上最高峰の牛乳
- ・トロケッテ・ウーノ  
(プレーン、いちご、あずき、ハスカップ、まっちゃん)
- ・パンナコッタ・ウーノ
- ・のむヨーグルト



### (株)オホーツクファーム喜多牧場 〈紋別市〉

代表取締役 喜多 俊晴

(酪農学園大学酪農学部酪農学科卒)

当日販売は喜多 遼太郎

(酪農学園大学農食環境学群循環農学類4年)

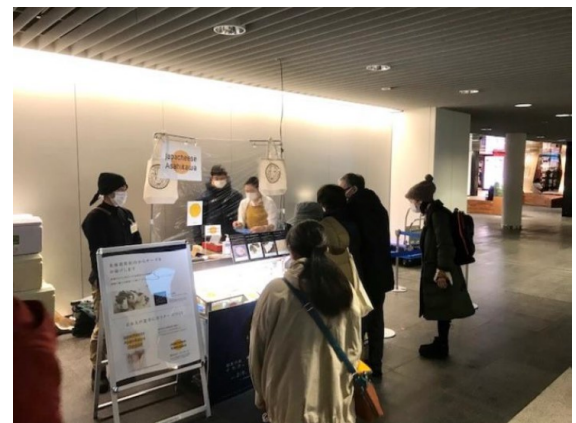
出品商品

- ・オホーツクファームの乳
- ・ストリングチーズ
- ・おつまみチーズ





**(有)山川牧場自然牛乳** 〈七飯町大沼〉  
 代表取締役 山川 明  
 (酪農学園大学短期大学部酪農学科卒)  
 当日販売は山川 大貴  
 (酪農学園大学農食環境学群食と健康学類卒)  
 出品商品  
 ・山川牧場特濃牛乳  
 ・コーヒーミルク  
 ・プレーンヨーグルト無糖  
 ・のむヨーグルト



**(株)アンジュ・フロマージュ** 〈黒松内町〉  
 農場長 射場 勇樹(酪農学園大学酪農学部食品科学科卒)  
 出品商品  
 ・アンジュ カレ  
 ・pinot noir  
 ・バター  
 ・リヴィエールブラン

**(株)ジャパチーズ** 〈旭川市〉  
 代表取締役 長尾 英次(酪農学園大学酪農学部食品科学科卒)  
 出品商品  
 ・チェダーチーズ  
 ・黒岳チェダー(黒ビールチェダー)  
 ・モッツアレラ  
 ・トマトモッツアレラ  
 ・ちよい熟







**酪農学園大学**

出品商品

- ・バター
- ・ゴーダチーズ
- ・カマンベールチーズ



**(有)十勝しんむら牧場** 〈上士幌町〉

代表取締役 新村 浩隆

(酪農学園大学酪農学部農業経済学科卒)

出品商品

- ・ミルクジャム(プレーン、モカ、ショコラ)

**(株)長沼あいす** 〈長沼町〉

代表取締役社長 山口 幸太郎

(酪農学園大学酪農学部食品科学科卒)

出品商品

- ・カチョカバロチッコロ
- ・カチョカバロチッコロスモーク
- ・北のおいちーず
- ・COW'S KITCHEN(バジル、トッポギ風、スープカレー風)
- ・北海道ラクレットチーズ

**(有)鈴の鳴る道** 〈新冠町〉

石山 翔(酪農学園大学酪農学部食品科学科卒)

出品商品

- ・ホロシリ牛乳
- ・ホロシミリルクコーヒー
- ・大地の初雪(モッツアレラチーズ)
- ・ミルクのささやき(スリングチーズ)
- ・幌尻ゴーダ(ゴーダチーズ)



### ③ 酪農フォトコンテスト

新型コロナウイルス感染症の流行により大きな打撃を受けた酪農・乳業界を応援することを目的に、酪農業界がもっと元気になれる作品、酪農の魅力や牛の魅力、牛乳・乳製品の魅力が伝わる作品を募集しました。

- ☆新型コロナウイルス感染症流行による酪農・乳業界への影響について
- ・第15回全日本ホルスタイン共進会 九州・沖縄ブロック大会 開催中止
- ・外食産業や観光業の停滞、学校給食休止による牛乳・乳製品の需給不安定化など



## 実施要領

### 募集期間

2020年9月1日(火)～2020年11月30日(月)

### 周知方法

プレスリリース、チラシ送付、社会連携センターおよび酪農PLUS+のWebサイト・SNSでの告知  
チラシ送付先:全国の農業高校、本学指定校、農業系学科を有する大学・大学校・専門学校、  
観光牧場、酪農教育ファーム認証牧場、協定機関、酪農協、牛乳普及協会など

### 部門・テーマ・応募資格

#### ・酪農家部門

テーマ:自慢の乳牛、牧場の風景など

応募資格:酪農家または牧場従業員

#### ・未来の酪農家部門

テーマ:自慢の乳牛、牧場の風景など(学校で飼養する乳牛、学校の風景なども可)

応募資格:将来酪農業に携わりたいと考えている児童・生徒・学生

#### ・一般部門

テーマ:“酪農・乳業”に関連するもの(例)牧場で撮影した乳牛、牛乳や乳製品を飲んだり食べたりする様子など

応募資格:不問

#### ・牛グッズ部門

テーマ:自慢の牛グッズ(店舗などで販売・展示されている状態のものは不可)

応募資格:不問

### 応募方法

写真プリント(郵送) または 電子データ

### 応募規定

- ・撮影機材不問(スマートフォンも可)
- ・モノクロ・カラー不問
- ・応募は1人(1団体)3点まで(同一部門への応募は2点まで)
- ・合成、修正不可(明暗・彩度・コントラスト調整、トリミングは可)
- ・団体・連名可(代表者は決定してください)
- ・1年以内(2019年7月以降)に撮影した作品で、未発表のもの(個人のSNSなどは除く)

### 賞

- ・最優秀賞(1点):図書カード5万円分+酪農学園大学オリジナル乳製品セット
- ・部門賞(各1点、計4点):図書カード2万円分
- ・参加賞:酪農PLUS+マスコットキャラクター「サンディー」グッズ

### 審査

#### ・一次選考

選考方法:学生、教職員による投票 ※入構自粛期間中のためgoogle formsを使用

投票期間:12/7(月)～13(日)

投票数:144件

#### ・最終選考

一次選考の投票数上位5作品(票数が同じ場合は5位までの作品すべて)から審査員が決定

## 審査員

- ・ 最 優 秀 賞 : 酪農学園理事長 谷山弘行
- ・ 酪 農 家 部 門 : 酪農学園フィールド教育研究センター長 堂地 修
- ・ 未来の酪農家部門 : 獣医学群長 及川 伸
- ・ 一 般 部 門 : 酪農学園大学社会連携センター長 吉中厚裕

## 結果発表

2020年12月21日(月) 特設サイト上で発表

## 応募者数および応募点数

全国の酪農家の方や牧場スタッフの方、高校生、大学生など、  
172名の方から297点の応募をいただきました。

応募者の内訳 北海道 **73名** 125点  
都府県 **99名** 172点

	応募者数	応募点数
酪 農 家 部 門	47	74
未来の酪農家部門	33 (うち団体3)	49
一 般 部 門	98 (うち団体2)	137
牛 グ ヅ 部 門	32	37
計	<b>172</b> (延べ210)	<b>297</b>

## 受賞作品

### 最優秀賞



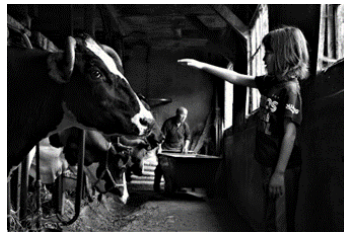
「ありがとう さようなら」 「大雪山の麓にて」  
ワタリさん(酪農家部門)

### 酪農家部門



あらしょーさん

### 未来の酪農家部門



「大きくなったかな？」  
西井白愛さん

### 一般部門



「愛があれば想いは伝わる」  
大塚洋平さん

### 牛グッズ部門



「シャーレー牛の放牧」  
ななちゃんさん

## 酪農学園チ・カ・ホdeマルシェ特別賞

酪農学園チ・カ・ホdeマルシェ会場で、酪農フォトコンテストの入賞作品ならびに応募作品\*を展示しました。

\*応募時に「ホームページへの掲載を希望する」にチェックされた方の作品のみ

入賞作品を除く応募作品をランダムに3つのグループに分け、来場者の方に各グループから1点ずつ気に入った作品に投票していただきました。

各グループで最も投票数の多かった作品を「酪農学園チ・カ・ホdeマルシェ×酪農フォトコンテスト 特別賞」とし、賞品として本学およびマルシェ出店者が製造する乳製品を贈呈しました。



「君はともだち」  
Natsukiさん(酪農家部門)



「3姉妹+1」  
七海さん(一般部門)



「ボクにまかせて！」  
阿寒のカウガールさん(酪農家部門)

## オリジナルカレンダー製作

コンテストの入賞作品および最終選考に残った作品、酪農学園チ・カ・ホdeマルシェ特別賞に選ばれた作品を使用した卓上カレンダー(2021年3月～2022年3月)を製作し、使用した作品の応募者、全国の農業高校、協定機関等に送付しました。



## (4) その他

### ①羽幌町

羽幌町との連携事業で焼尻めん羊牧場草地環境向上のため、循環農学類の教員及び学生の派遣を行いました。また、調査結果の報告もオンラインで行いました。

9月19日(土)～20日(日) 三枝 俊哉教授 学生4名

### ②旭川ガス「ほっと」へのレシピ掲載

2020年4月～2021年3月、旭川ガスが発行するガスだより「ほっと」へ「食べよう！モウっと野菜」と題して食と健康学類栄養教育学研究室の協力により乳製品を使ったレシピを紹介しました。本誌は旭川市で10万戸、江別市で2万戸の家庭に配布されおり、読者からは好評をいただいています。

酪農学園大学  
旭川ガス

## 食べよう! モウっと野菜

季節の 野菜 × 乳製品

### アスパラと春キャベツのクリームパスタ

この1品で  
野菜 140g  
目標量 350g/日

クリームチーズを利用して、手軽にクリームソースを。



#### 【4月号感想 一部抜粋】

- レシピのページいつも料理の参考にさせていただいています。コロナが流行っている今、免疫のつく簡単レシピを載せてほしいです。よろしくをお願いします。
  - お料理の「アスパラと春キャベツのクリームパスタ」私は生クリームと牛乳で作るのですが、クリームチーズでも作れるんですね。今度試してみます。
  - 4月から旭川に引っ越してきました。美味しそうなレシピも載っていてとっておこうと思いました！
  - 食べようモウっと野菜 美味しそうで作ってみたいになりました。店頭のアスパラガスが並んでいるのでタイムリーな記事でいいですね！
  - 食べよう！モウっと野菜 のレシピとカロリー等々の説明が日常生活の参考になりました。
- コロナウイルスで大変な世の中。おうちにいる時間も多く子供達と楽しく免疫力を高められるお料理レシピを教えてください。
  - もっと身近な材料で作れるものだったり、作りたいと思える写真を使って欲しいです。
  - アスパラと春キャベツのクリームパスタのレシピ、簡単なので作ってみました。家ご飯ばかりで、困ってたので、助かりました。有難うございました。
  - いつも旬の野菜を使った料理を紹介していただきありがとうございます。何度か我が家の食卓にも上がり評判もいいですよ？
  - 料理レシピや野菜の栄養について載っているのはありがたいです(^-^)
  - アスパラガスの効能一参考になりました。

酪農学園大学  
旭川ガス

## 食べよう! モウっと野菜

季節の 野菜 × 乳製品

### たまねぎとダブルチーズのオープン焼き

この1品で  
野菜 150g  
目標量 350g/日

たまねぎを丸ごと使って、ちょっと贅沢なおもてなしに。



#### 【5月号感想 一部抜粋】

- 時間に余裕ができたので久しぶりにガスだよりを読みました。色々な情報が沢山の勉強になりました。今月の食べよう！モウっと野菜の玉ねぎ料理に目が釘付けになり早速今晚のおかずで決定です。まるごと玉葱をつかったレシピが見た目も楽しく気になりました。今度作ろうと思います。
  - 玉ねぎのオープン焼き美味しそうなのでやってみます。
  - レシピがとても参考になります。玉ねぎとダブルチーズのオープン焼き美味しかったです！
  - 季節の野菜たまねぎに関して大変参考になりました。
  - 玉ねぎのオープン焼きおいしそうで作ってしまいました。
- 外出自粛中のなか、食べよう！のたまねぎ料理は手軽に作れそうなので、早速作ってみようと思いました。今後もお手軽料理のレシピをお願いします。

季節の 野菜 × 乳製品

## ほうれんそうと牛乳でお手軽キッシュ

パイ生地の代わりに餃子の皮を使います。おうちで簡単に。たんぱく質やビタミンが豊富で免疫力アップ。

この1品で  
野菜  
45g/人  
目標量  
350g/日



- ほうれんそうと牛乳でお手軽キッシュを作ってみました。とても美味でした。
- 酪農学園大学とのコラボよかったです。簡単キッシュぜひ作ってみたいです。
- 私も酪農学園大学に関係していましたので、嬉しいかぎりです。

### 【6月号感想 一部抜粋】

- ぎょうざの皮でキッシュが作れるのは初めて知りました。手軽に作れるので作ってみようと思います。来月のレシピも楽しみにしています。
- いつも楽しくお料理コーナーを拝見しています。今回のキッシュは見た目手ごわそうですが、内容を見るとできそうかなという感じですので挑戦してみようと思っています。これからも、簡単で美味しい料理を紹介してください。
- ほっとに載っていた酪農学園大学とのコラボメニュー、早速使わせてもらいました。役立つ内容でいいですね
- 食べようモウっと野菜が手軽で小人数も応用でき、後片付けも楽でとても嬉しい記事でした。お弁当にも良いかも。
- 今号に載っていたキッシュのレシピ、いつも餃子の皮があるので今度作りたと思います。

季節の 野菜 × 乳製品

## 野菜をディップ

水切りしたヨーグルトをベースとしたさっぱり感のあるディップです。たっぷりの野菜で食卓に彩りをプラス。

この1品で  
野菜  
100g/人  
目標量  
350g/日



- 食べようモウっと野菜を参考にして、野菜の摂取を意識していきたいなと思いました！
- 野菜をディップを作ってみました。ベジファースト実践中なので野菜を食べる機会が増え、簡単で味も良く、様々な栄養素がとれるのでとても参考に
- 「食べよう！モウっと野菜」これから地物野菜の美味しい季節。いろいろなディップに挑戦してみようと思います。
- 野菜が美味しい季節 野菜をディップが参考になりました
- 今月のディップはとても美味しそうだったのでやってみたいです。

### 【7月号感想 一部抜粋】

- ディップ作りました！！新鮮野菜をいただきディップすごく美味！！ヨーグルトで作ってみました。他の味も試そうと思います。ディップにはまりそう
- リーフレタスをよく食べるので、栄養分を知れて良かったです。
- 地物の野菜が豊富になってきました。野菜のディップ試してみたいと思います。
- 家に必ずヨーグルトがあるので、ヨーグルトディップ試してみたいと思いました。乳酸菌でコロナ菌やつつけたい！
- リーフレタスは普通のレタスより価格が安いので良く食べますがとても体に良いとは知りませんでした。為になりました。

季節の 野菜 × 乳製品

## トマトの簡単冷製はちみつマリネ

リンゴ酢の酸味とほんのり甘さのはちみつと合わせて、ばくばくすすむ一品です。

この1品で  
野菜  
70g/人  
目標量  
350g/日



### 【8月号感想 一部抜粋】

- 今月は季節の野菜ミニトマトの情報を読み、リコピンが豊富は知っていましたが、色が濃い物に気づけました。
- チーズを入れるという発想はなかったのも、とても参考になりました。
- トマトの簡単冷製はちみつマリネを参考に作ってみたところ家族に好評でした。またレシピも楽しみにしています。
- さっそくトマトのはちみつマリネを作ってみました。簡単なレシピを載せていただけるとは助かります！
- 食べよう！モウっと野菜のコーナーのトマトのはちみつマリネやってみたいです！
- 見た目も華やかだし、トマトはそのまま食べるばかりなのでこういうメニューは参考になります！
- いつも楽しく読まさせていただいております。今回は「食べよう！モウっと野菜」を試してみました。おいしかったです。

季節の 野菜 × 乳製品

## 秋のかぼちゃグラタン

食欲の秋に、旬のかぼちゃで野菜をたっぷり。おいしく免疫力アップ!

この1品で  
野菜  
170g/人  
目標量  
350g/日



### 【9月号感想 一部抜粋】

- 早速、かぼちゃグラタンとおぼんざいレシピ作りしました。おいしかったのでレシピノートに貼りました。
- 秋のかぼちゃグラタンの記事写真もいいレシピが丁寧でとても良かった。
- 料理のレシピが楽しみにしております。いつもファイリングして参考にしています。今月のカボチャグラタン、今日作ってみます。
- カボチャグラタンのレシピを見て、これからの時期カボチャを食べる機会が多くなるので作ってみようと思います。来月もどんなレシピが載るのか楽しみにしています。
- カボチャのグラタンが美味しそうなので、早速作ってみたいと思います!

- 「食べようモウっと野菜」の秋のかぼちゃグラタンの記事を読み、家庭で作ってみようと思いました。
- カボチャの栄養について、良く理解できた。
- かぼちゃグラタンの作り方を参考したいと思います!
- また家にたくさんカボチャがあるので、秋のカボチャグラタンぜひ作ってみようと思います。いつもレシピ楽しみにしています!
- いつも、お料理を楽しみにしています。必ず作っています??今回はかぼちゃがあるので、是非かぼちゃグラタン作って秋を実感したいと思います??これからも楽しみにしています。

季節の 野菜 × 乳製品

## 鮭と小松菜のミルクリゾット

フライパンひとつで簡単リゾット。旬の鮭と牛乳のうま味で仕上げます。

この1品で  
野菜  
140g/人  
目標量  
350g/日



### 【10月号感想 一部抜粋】

- 料理コーナーの野菜の説明がためになります。栄養価の事とか参考になります。
- 10月号に掲載されておりました、リゾットのレシピ、凄く嬉しかったです! 実際に作ってみて美味しかったので、またやってみます。
- 鮭をたくさん購入したり頂くようになったので、鮭レシピありがたいです。リゾットにするアイデアなかった!
- 季節の野菜である小松菜について紹介してもらい、料理のレシピが掲載されていたので挑戦してみようと思います。
- 小さい子供がいるので中々、外食に行くことができず、いつも、美味しそうだなあとと思いながら、見ています。個人的には、自分の母校でもあるので、酪農学園大学の連載が楽しみです。

- 酪農学園大学の「モウっと野菜」レシピ、コロナ巣籠もりの身体にとっても良いですね。
- レシピを楽しみにしています道産食材で手軽に作れるのが魅力です。
- いつも楽しく拝見しています。今回の「食べよう!モウっと野菜」は旬の鮭をいつもと違う食べ方で頂け、家族にも好評でした。これからも記事を楽しみにしています。

季節の 野菜 × 乳製品

## ほくほくのさつまいもコロッケ

玉ねぎは炒めずに加えることで食感をプラス。寒くなる季節に心も体も温まる1品です。

この1品で  
野菜  
150g/人  
目標量  
350g/日



### 【11月号感想 一部抜粋】

- 料理レシピ、母校の後輩(かなり下)なので毎回楽しみにしています。
- いつも「食べよう!モウっと野菜」で紹介されるお料理を楽しみにしています。実家に帰ったら試作を作りたいものが毎回載ってます。一人身では食べきれなくなる心配があり実家に帰省時に作ります。
- 「ほくほくのさつまいもコロッケ」を妻に作ってもらいました。とても美味しく、妻も喜んでいました。料理のレシピやお店の紹介は、いつも参考にしています。
- 今回のほっとガスだよりは、酪農学園大学の「さつまいもコロッケ」のレシピが良かったです。甘くて家族からも評判でした!

- さつまいもコロッケ・チーズも使って美味しそうですね。じゃがいもをたくさん頂いたのでじゃがいもバージョンで作ってみます。
- 旬の野菜を使ったメニューが参考になっています。
- スーパーで見るさつまいものサイズが大きくなってきて、焼き芋が食べたいと思っていた所においしいさつまいもコロッケの作り方が紹介されていて、気分はすっかり焼き芋ではなくコロッケになりました。

季節の 野菜 × 乳製品

## クリスマス ビーフシチュー

冬の野菜を  
ふんだんに使用した  
クリスマスにピッタリの  
簡単ビーフシチュー

この1品で  
野菜  
170g/人  
目標量  
350g/日



- 今年はお家クリスマスなのでクリスマスビーフシチュー作ってみます！
- いつもレシピ見えます。クリスマスビーフシチュー作ってみたいと思いました。これからも楽しみにしています。
- クリスマスビーフシチュー参考にします。
- いつもレシピを楽しみに拝見させていただいて、晩御飯のメニューの参考にさせてもらってます。ありがとうございます。
- クリスマスビーフシチュー早速作ってみました。美味しくできました。

### 【12月号感想 一部抜粋】

- レシピに掲載されていた「ビーフシチュー」おいしそうでした。クリスマスに作ってみたいと思います。
- ビーフシチューを今後作ってみたいと思います。美味しそうなので！
- クリスマスビーフシチューのレシピの量が1人分で記載されているのが珍しいなあとと思いました。でもこの方が家族人数分に計算しやすいかと思いました。
- 料理のレシピは興味深く毎回見えています。今月号もビーフシチューをぜひ作ってみたいになりました。季節のレシピはありがたいです。また、よろしくお願ひします。

季節の 野菜 × 乳製品

## お餅で ピザ風カナッペ

正月に残ったお餅はありませんか？  
フライパン1つで  
手軽に腹持ち抜群の  
一品です。  
のせる具材は  
お好みでアレンジOK!

この1品で  
野菜  
30g/人  
目標量  
350g/日



- いつも、見えます。私は一人暮らしであまり料理が得意じゃないので、掲載されてるレシピをやってみて少しずつ料理の練習させてもらってます！季節の野菜とか教えてくれるので、買い物するときも時期に合わせた野菜を選ぶようになり、ちよっと料理も楽しくなってきました。これからも頑張ります。
- 鏡開きのお餅をつかえたので、ピザ風カナッペの作り方がよかったです。
- 正月に残ったお餅を利用したレシピ紹介がよかったです。

### 【1月号感想 一部抜粋】

- お正月であまりがちのお餅でのレシピ、すごく参考になりました。
- お餅でピザ風カナッペ、ランチに作ってみました！子供大喜びでした！
- お餅がいつも残ってしまい、同じ食べ方だと飽きてしまうので、アレンジレシピ助かります。
- お餅料理、最高でした！お酒のつまみにぜひ作って食べたいと思います！今後も料理関係の記事をぜひお願いします。
- 食べよう！モウっと野菜コーナーが楽しかったです。余った食材で美味しそうなものに変化へのアレンジが参考になります。

季節の 野菜 × 乳製品

## 春の彩り ちらし寿司

カップを用いた  
ミニちらし寿司は  
ひな祭りにもぴったり！  
カッターチーズの  
組み合わせもイチオシです。

この1品で  
野菜  
35g/人  
目標量  
350g/日



### 【2月号感想 一部抜粋】

- 来月はひな祭りなので、ちらし寿司のレシピ参考に娘と作ってみたいと思います！
- カッターチーズを使うのは、意外ですが、とても美味しそうですね。彩りも綺麗です。
- 春の彩りちらし寿司は良かったです。レンコンが苦手でしたが、栄養もあり美容に良さそうなので、どんどん食べたいと思いました。
- レンコンの話がためになると思った。

季節の 野菜 × 乳製品

### ほっとひとくち ミルクロール キャベツ

チーズをひき肉のつなぎにし、  
キャベツの芯を  
加えることで無駄なく  
食感も楽しめます。  
ほっと温まる一品に。



- 食べよう?もうっと野菜 のレシピ参考になります。特にキャベツの栄養素が分かりキャベツをもっと食べなくちゃと思いました。
- ガスだより毎月楽しみに見えています。とくに、レシピは保存しています。
- 考えていたよりもロールキャベツが簡単に作れそうなので、ロールキャベツ作ってみたいと思いました
- 夕飯の献立作りに役立っています。

※各レシピは、酪農PLUS+で紹介しています。

#### 【3月号感想 一部抜粋】

- 春になると、野菜が美味しい。春キャベツが、大好きです。
- ほっとひとくちミルクロールキャベツとても美味しそうでした！是非我が家でも作ろうと思います。
- いつもガスだより見えています！美味しい料理のレシピ参考にさせていただいています！これからも頑張ってください(^ ^)
- 食べよう!もうっと野菜のレシピで作ってみたいとおもいます。いつもレシピを楽しみにしています。
- ロールキャベツ美味しそう！
- ガスだよりのミルクロールキャベツ作りました。美味しくできました。



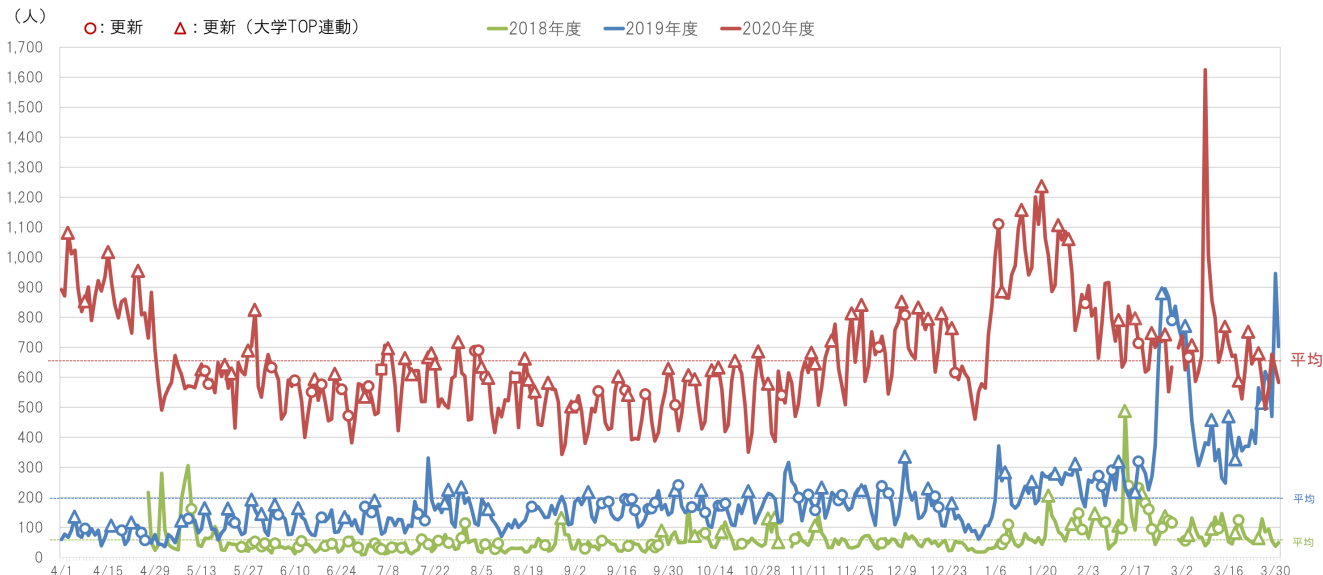
## (5) 酪農PLUS+

### ① アクセス状況

※GoogleAnalyticsではすべてのユーザーの属性、環境などを判別することができないため、各項目の合計値は総アクセス数とは一致しない。

#### a. 日別アクセス状況

- 総アクセス数 **239,703人**(前年度+168,368人)    ■ 日平均アクセス数 **656.7人**(前年度+461.8人)
- 日最高アクセス数 **1,624人**(3/9 TV番組『林修の今でしょ！講座』でヨーグル特集放送)



#### b. 地域別アクセス状況

都道府県別では、前年度に続き東京都からのアクセスが最も多くなりました。市区町村別では横浜市、大阪市、名古屋市などが大幅に増加し、それに伴い神奈川県、大阪府が北海道を上回るアクセス数となりました。

##### ■ 国別

	国名	ユーザー数
1	日本	206,964
2	アメリカ	1,411
3	(不明)	513
4	台湾	198
5	中国	136
6	韓国	121
7	ドイツ	116
8	カナダ	115
9	イギリス タイ	94

##### ■ 都道府県別

	都道府県名	ユーザー数
1	東京都	38,422
2	神奈川県	30,258
3	大阪府	25,372
4	北海道	21,349
5	愛知県	11,152
6	埼玉県	8,559
7	千葉県	6,653
8	福岡県	6,030
9	兵庫県	5,576
10	宮城県	3,078

##### ■ 市町村別

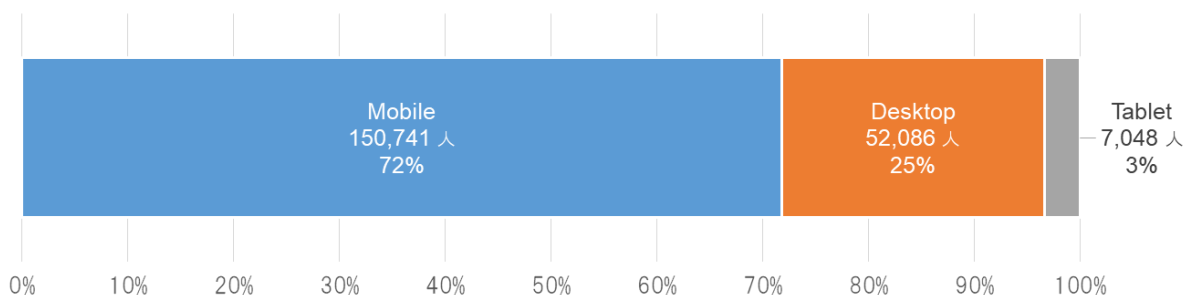
	市町村名	ユーザー数
1	横浜市	24,230
2	大阪市	21,213
3	札幌市	12,775
4	名古屋市	7,689
5	新宿区	7,630
6	港区	6,167
7	千代田区	4,399
8	福岡市	4,372
9	さいたま市	3,603
10	世田谷区	3,300

##### ■ 道内市町村別 ( )内は全国での順位

	市町村名	ユーザー数
1 (3)	札幌市	12,775
2 (14)	江別市	2,239
3 (21)	帯広市	1,370
4 (48)	旭川市	689
5 (79)	釧路市	397
6 (94)	函館市	365
7 (116)	北見市	288
8 (132)	恵庭市	219
9 (133)	苫小牧市	217
10 (135)	中標津町	214

### c. デバイス別アクセス状況

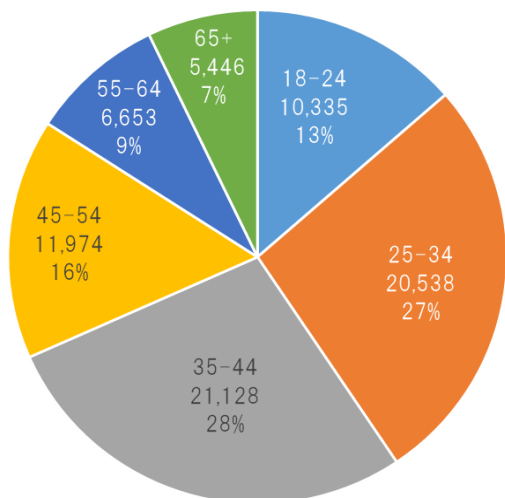
2019年度よりモバイル(携帯電話・スマートフォン)からのアクセスがさらに増加し、70%を超えました。



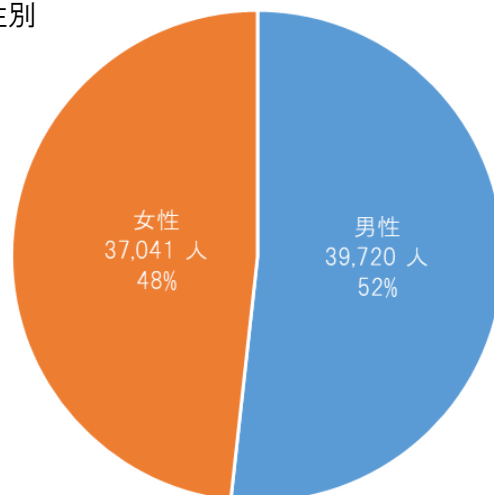
### d. 年齢・性別アクセス状況

年齢構成は2018年度から大きく変化しておらず、20代後半～40代がメインユーザーとなっています。性別では女性ユーザーの割合がやや増加しました(45%→48%)。

年齢別

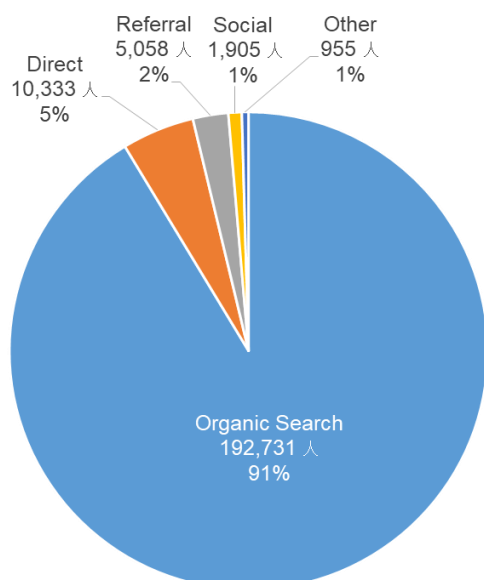


性別



### e. 流入経路別アクセス状況

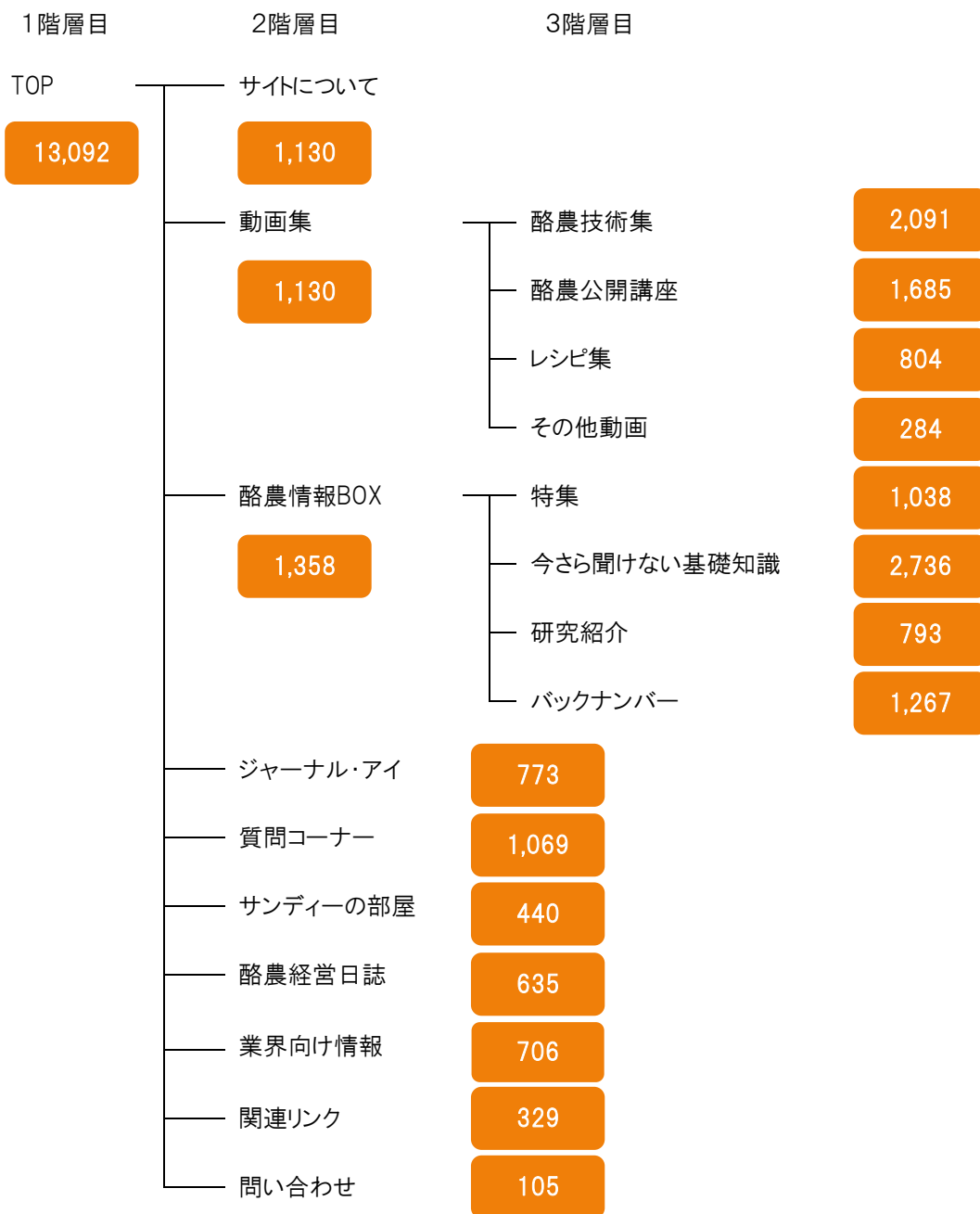
検索サイトを経由する「Organic Search」からの流入が2019年度からさらに増加しました(83%→91%)。検索ワードでは、「コロナ+ヨーグルト」など新型コロナウイルス感染症に関連するものが上位を占めました。



- Organic Search  
GoogleやYahooなどの検索サイトから流入
- Direct  
ブラウザのブックマークやURL直接入力、QRコードから流入  
※酪農学園大学ホームページからの流入を含む
- Social  
FacebookやTwitterなど、ソーシャルメディアから流入
- Referral  
他のサイトに貼られた外部リンクから流入
- Other  
その他

## f. ページ別アクセス状況（1～3階層）

トップページを含む1～3階層目は、ほぼすべてのページで2019年度の閲覧数を上回りました。特に、本学全学類の1年生が履修する「健土健民入門実習」のテキストに指定された「今さら聞けない基礎知識」は大幅に増加しました。



## g. ページ別アクセス状況（動画集）

### 公開講座

タイトル	掲載日	閲覧数
酪農公開講座		
第51回「草地の雑草対策」	18/4/27	88
第51回「乳牛の哺育育成のポイント」	18/4/27	186
第53回「自動搾乳システムの現在と未来～乳牛・改良・配慮～」	18/4/27	196
第55回「北海道150年と酪農の歴史～パイオニアと地上の星のスピリットを今に～」	19/1/29	198
第55回「スマート酪農の展開～飼料生産、乳生産の省力化、自動化～」	19/2/12	119
第55回「スマート酪農の展開～ドローンや衛星画像技術の農地管理への利活用について～」	19/3/5	99
その他講座		
牛の蹄管理総論 I	20/5/22	1,103
第1回酪農オンライン講座「農場のバイオセキュリティを考える～地域の畜産衛生管理について～」	21/3/25	170

酪農現場で役立つロープワークを紹介する「牛の結び方」シリーズのほか、今年度公開した「牛の蹄管理総論Ⅰ」「農場のバイオセキュリティを考える～地域の畜産衛生管理について～」もアクセス数が多い傾向にありました。

## 酪農技術集

タイトル	掲載日	閲覧数
牛の結び方～ロープ末端の処理～	18/4/27	470
牛の結び方～簡易頭絡～	18/4/27	3,841
共進会に向けた毛刈り～脚&肋編～	18/7/18	233
共進会に向けた毛刈り～尾&トップライン編～	18/7/26	159
共進会に向けた毛刈り～乳房編～	18/8/7	187
共進会での牛の引き方	18/8/10	398
牛の結び方～モクシの作り方～	18/11/2	2,564
牛の結び方～ロープの端に輪を作る～	19/1/22	1,599
牛の結び方～杭に繋ぐ～	19/2/19	851
牛の結び方～尾を結ぶ～	19/3/19	1,124
牛の結び方～途中で輪を作る～	19/3/26	400
草地造成改良の流れ	20/7/21	402

## レシピ集

タイトル	掲載日	閲覧数
抹茶ミルク	18/4/27	13
アップルポムポム	18/4/27	26
フレンチトースト	18/6/1	37
リンゴミルク	18/6/4	22
ミルクもちの作り方	18/8/28	55
ミルクもちパフェの作り方	18/8/28	22
フルーツ寒天パフェの作り方	18/8/28	19
牛乳プリンの作り方	18/8/28	28
牛乳寒天パフェの作り方	18/8/28	47
牛乳ゼリーとリンゴのキャラメリゼパフェの作り方	18/8/28	19
ギリシア風サラダの作り方	18/9/28	23
ブラマンジェの作り方	19/11/1	105
きなこミルクの作り方	19/2/5	24
ドイツグラタンの作り方	19/2/26	98
クルミミルクの作り方	19/3/12	99
ジャガイモの冷製スープの作り方	19/4/23	11
フライパンピザの作り方	19/5/7	90
ヨーグルトスープの作り方	19/5/14	58
キャロットコロッケの作り方	19/5/21	66
ベビーホタテのリカバリーカルボナーラ	19/5/28	110
筋肉モリモリ！ささ身とクリームチーズのグラタン	19/6/4	396
タンダリーチキンの作り方	20/7/1	139
鶏もも肉のチーズピカタの作り方	20/7/15	192
鶏もも肉のホワイトソースがけの作り方	20/7/29	149
ミルクくずもちの作り方	20/8/7	148
野菜グラタンの作り方	20/8/21	294

## その他動画

タイトル	掲載日	閲覧数
紫アスパラガスとトマトの個性を活かしたホテルレシピの開発	18/6/19	42
もみ殻堆肥の作り方	20/8/3	116
落葉堆肥の作り方	20/8/4	207

## h. ページ別アクセス状況（酪農情報BOX）

閲覧数では特集の「乳房炎の原因と予防法」、ダウンロード数では実習のテキストになった今さら聞けない基礎知識の「乳牛のステージ別呼称」が最も多くなりました。

連載では、宮崎で口蹄疫が発生・終息して10年目を迎えることから、2016年に月刊誌「酪農ジャーナル」で連載されていた「農場のバイオセキュリティを考える」(全12回)の改訂版を掲載しました。

☆PDFのダウンロードについて

簡単なアンケート(居住地、性別、年齢、職業)に回答することで、本文と図表を見やすく配置したPDFをダウンロードできる仕組みを導入しています(特集、連載、今さら聞けない基礎知識、研究紹介)。

PDFダウンロード数の推移

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2018	7	43	35	20	45	25	61	38	33	25	89	47	468
2019	56	53	52	44	59	37	46	72	93	96	127	115	850
2020	112	162	163	1,341	1,202	150	153	138	184	170	192	137	4,104

### 特集

タイトル	掲載日	閲覧数	DL数
飼料給与と栄養管理	18/4/27	4,132	103
泌乳と搾乳の生理	18/4/27	1,437	27
牛の繁殖生理	18/4/27	6,298	63
乳房炎の原因と予防法 ―病気の特徴と基本的な搾乳衛生―	18/4/27	11,399	150
高泌乳牛管理の注意点とその栄養について	18/10/16	4,221	69
環境にやさしい牛の飼い方とは ―ルーメン環境を最適化すると環境負荷は低減する―	18/10/30	2,454	25
酪農経営を継続させるための繁殖のポイント ―繁殖で悩んだときの解決のポイント教えます―	18/11/13	848	20
体力向上のための運動と運動の効果を高める牛乳の摂取について	19/5/31	6,480	4
酪農現場における暑熱対策	19/6/11	2,388	60
酪農におけるGGAPの取り組み	19/7/4	344	8
酪農におけるアニマルウェルフェアと現状	19/9/6	1,495	23
胎子死を防ぐための飼養管理技術―特に冬場は注意が必要―	19/11/15	824	18
子牛の免疫システムの成熟と感染症	19/12/10	2,305	55
高泌乳牛の繁殖成績の現状と受胎率向上について	20/1/9	1,557	31
乳牛の繁殖成績と分娩前後の栄養状態との関係(1)	20/1/24	1,797	57
乳牛の繁殖成績と分娩前後の栄養状態との関係(2)	20/1/24	687	35
乳用牛の生産性を高めるカウコンフォートに配慮した牛舎構造	20/2/12	2,861	52
酪農経営の動向とこれからの家族酪農	20/3/11	1,349	29
牛乳の栄養的特性と摂取効果について	20/10/6	2,357	2
日本における搾乳ロボットの普及と地域による利用特性	20/10/27	1,028	14
乳からチーズへ ―作る技術と美味しさの秘密―	21/3/5	170	2
乳糖不耐症とヒトの乳利用	21/3/29	135	0
【連載】草地の土づくり			
＜第1回＞草地更新時の注意点	18/4/27	664	15
＜第2回＞草地土壌の特徴	18/10/8	903	28
＜第3回＞草地の維持管理の基礎	19/4/5	966	24
＜第4回＞施肥基準とは何か？	19/11/27	552	28
＜第5回＞土壌診断に基づく施肥対応1:土壌採取時の注意と施肥対応の考え方	20/5/13	433	20
＜第6回＞土壌診断に基づく施肥対応2:カリウムの施肥対応	20/11/13	261	9

タイトル	掲載日	閲覧数	DL数
【連載】飼料作物の生産と調整—理論と実際—			
＜第1回＞自給粗飼料の重要性	19/4/16	405	22
＜第2回＞自給粗飼料生産	19/6/25	301	23
＜第3回＞飼料作物の調製利用～サイレージ発酵の理論～	19/8/7	1,488	32
＜第4回＞牧草の調製利用～サイレージ調製の基本と実際～	19/10/10	2,007	38
＜第5回＞トウモロコシサイレージ調製の基本と実際	19/12/24	1,475	32
＜第6回＞サイレージの品質評価法と好気的変敗	20/2/25	1,866	47
【連載】農場のバイオセキュリティを考える			
＜第1回＞農場の防疫対策	20/4/8	781	31
＜第2回＞酪農場の消毒	20/5/27	410	19
＜第3回＞酪農場で使用する消毒薬	20/6/22	259	22
＜第4回＞飼養衛生管理基準	20/7/20	295	19
＜第5回＞酪農場の衛生管理におけるHACCPの有用性について	20/8/25	266	18
＜第6回＞牛舎の衛生対策(石灰塗布)	20/9/18	485	19
＜第7回＞酪農現場で問題になる感染症	20/10/20	310	17
＜第8回＞酪農現場で問題になる感染症Ⅱ	20/11/24	435	16
＜第9回＞酪農現場で問題になる感染症Ⅲ	20/12/17	244	12
＜第10回＞全国の農場における衛生モニタリング調査について	21/1/28	135	8
＜第11回＞「2010宮崎口蹄疫」の現地対策から見たもの	21/2/22	142	5
＜第12回＞バイオセキュリティの重要点を総まとめ	21/3/15	115	2

## 今さら聞けない基礎知識

\*: 健土健民入門実習テキスト

タイトル	掲載日	閲覧数	DL数
牛体測定*	18/4/27	5,342	388
乳牛の飼養形態*	18/4/27	2,657	377
飼料の種類*	18/4/27	2,345	367
乳牛のステージ別呼称*	18/6/4	3,751	531
牛の呼称(英語編)*	18/6/26	5,040	380
乳牛の基本情報 ～採食量・排泄量・泌乳量～*	18/7/6	3,353	405
ホルスタイン共進会	18/7/30	902	13
消毒薬の種類	19/2/18	678	31
乳牛の基本情報 ～歯～	19/2/25	3,638	46
牛乳の種類	19/3/14	621	17
牛乳の殺菌方法	19/3/20	8,462	60

## 研究紹介

タイトル	掲載日	閲覧数	DL数
北海道の公共牧場における牛消化管内寄生虫の感染状況と駆虫対策の実態	18/6/12	326	11
乳牛への飼料米給与が飼料摂取量、乳生産および牛乳の脂肪酸組成と“おいしさ”に及ぼす影響	18/7/12	208	6
離乳前後の子牛の管理について	19/2/14	2,729	48
牛乳房炎検査におけるCMT変法の再検証について	20/3/26	1,272	36
牛の起立様式からみた牛房での有孔マットの応用例	20/4/24	838	14
子牛のマイコプラズマ関節炎とその病態形成メカニズム	20/10/15	812	10

## i. ページ別アクセス状況（ジャーナルアイ）

2020年度からの新たな取り組みとして、旭川ガス発行のガスだより「ほっと」で連載を開始した『食べよう！モウっと野菜』（食と健康学類・栄養教育学研究室）のレシピ紹介、酪農後継者である本学の生徒・学生に実家の牧場を紹介してもらう『未来の酪農家紹介』の掲載をスタートしました。

タイトル	掲載日	閲覧数
「栄養ワンダー2019 酪農学園大学」が開催されました	19/7/30	37
2級認定牛削蹄師認定講習会・認定試験が開催されました	19/10/24	85
酪農と聖書		
① 蹄が分かれ、反すうする牛は“清い動物”	18/11/2	1,122
② 聖書において最も重要な動物は“牛”	18/12/5	353
③ 神の前に謙虚であることが 牧畜に携わる人々の美德である	19/1/8	26
④ 「愛と感謝」をもって動物利用をするべき	19/2/5	79
⑤ 避けて通れない「動物倫理」と「5つの自由」	19/3/4	341
⑥ 必要とされる！“牛の都合”を想像する視点	19/4/10	74
⑦ 高い倫理性はそれ自体が付加価値となる	19/5/9	24
⑧ 宗教文化と動物倫理	19/6/18	131
⑨ 歴史的な文脈の中の牛とそれに携わる人々	19/7/17	11
⑩ 詩篇23篇にみる「動物倫理」	19/8/20	185
⑪ 不作の収穫感謝祭	19/9/19	19
⑫ 聖書における土と三愛精神	19/10/17	73
世界の乳文化図鑑		
① 乳糖不耐症であるが故に“乳”を食べる人々	19/11/20	283
② ラクダ乳の利用	19/12/17	181
③ 遊牧民が伝えてきた発酵乳	20/1/30	186
④ 現代の技術を生かした伝統飲料シュバットの復活	20/2/18	118
⑤ 合理的な乳加工の知恵を伝承	20/3/18	48
⑥ 喫茶とミルク	20/4/15	177
⑦ 草原の名酒「馬乳酒」	20/5/20	782
⑧ プロバイオティクスの先駆的飲料	20/6/16	115
⑨ 中華料理における乳・乳製品	20/7/13	424
⑩ ネズミのお裾分けで作るチーズ	20/8/18	192
⑪ キルギスの民族飲料	20/9/15	99
⑫ キルギスにおけるチーズの活用方法	20/10/13	89
⑬ 一匙のアイスクリームや蘇る	20/11/18	179
⑭ 米国の乳製品のはなし	20/12/14	98
⑮ 民族料理の隠し味はチーズ	21/1/8	77
⑯ モンゴル国の最新牛乳事情	21/2/17	74
⑰ 遊牧世界の乳製品のこれから	21/3/12	95
未来の酪農家紹介		
筥ヶ崎牧場(北海道釧路市)筥ヶ崎 大輔さん	20/9/30	519
城田牧場(長野県伊那市)城田 幸大さん	20/10/30	550
オホーツクファーム喜多牧場(北海道紋別市)喜多 遼太郎さん	20/11/27	423
尾曲牧場(鹿児島県南九州市)尾曲 夢生さん	20/12/24	236
大原牧場(北海道美瑛町)大原 悠さん	21/1/25	329
鈴木牧場(北海道中標津町)鈴木 雄大さん	21/2/26	242
寺本牧場(北海道稚内市)寺本 遥香さん	21/3/25	190

タイトル	掲載日	閲覧数
食べよう！モウっと野菜		
4月号 アスパラと春キャベツのクリームパスタ	20/7/8	127
5月号 たまねぎとダブルチーズのオープン焼き	20/7/22	100
6月号 ほうれんそうと牛乳でお手軽キッシュ	20/8/5	107
7月号 野菜をディップ	20/8/19	124
8月号 トマトの簡単冷製はちみつマリネ	20/9/9	139
9月号 秋のかぼちゃグラタン	20/9/23	158
10月号 鮭と小松菜のミルクリゾット	20/10/8	133
11月号 ほくほくのさつまいもコロケ	20/11/12	137
12月号 クリスマスビーフシチュー	20/12/9	140
1月号 お餅でピザ風カナッペ	21/1/14	149
2月号 春の彩りちらし寿司	21/2/12	126
3月号 ほっとひとくちミルクロールキャベツ	21/3/19	27

『未来の酪農家紹介』の執筆を担当した生徒・学生  
酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校 機農コース 3年生



城田 幸大 さん



尾曲 夢生 さん



鈴木 雄大 さん

酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類 4年生



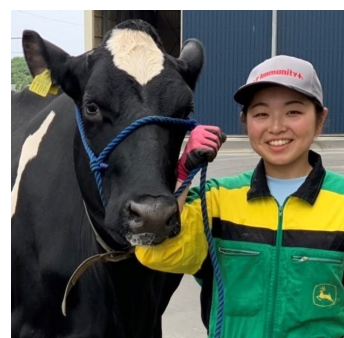
筈寄 大輔 さん



喜多 遠太郎 さん



大原 悠 さん



寺本 遥香 さん



## j. ページ別アクセス状況（質問コーナー）

「ヨーグルトを毎日食べていたら新型コロナウイルス感染症の予防になりますか？」の閲覧数が突出しており、サイト内で最多となりました。新型コロナウイルスに対するヨーグルトの効果は未だ明らかになっていないことから、記事内では一般的な風邪、花粉症、ノロウイルスでの研究報告を紹介しています。

また「ヨーグルトメーカーで作ったヨーグルトの成分は、元のヨーグルトと同じですか？」の閲覧数も非常に多く、サイト内2位となりました。テレビ等のメディアでヨーグルトの機能が度々紹介されたことで、自宅でヨーグルトメーカーを使用してヨーグルトを作る方や、ヨーグルトメーカーに興味を持つ方が増加したことが推察されます。

このほか、乳牛の値段や運動後に牛乳を摂取するタイミングなど、一般的な質問で閲覧数が多い傾向にありますが、TDNや黄体について等、専門性の高い質問でも2019年度より閲覧数が多くなりました。

タイトル	掲載日	閲覧数
人工授精がうまくいかない場合どうすればよいですか？	19/1/9	455
牛乳は太るって本当？	19/1/31	1,252
乳牛は1頭いくらで買えますか？	19/2/8	10,995
「アニマルウェルフェア」って何ですか？	19/2/13	308
運動後何分以内に牛乳を飲むと筋肉がたくさん作られるのですか？	19/2/15	3,704
筋肉をたくさん作るためには牛乳が良いと聞きましたが、乳製品でも良いのでしょうか？	19/2/15	398
牛は乳癌にならないのでしょうか？	19/2/20	299
粉ミルクは何倍希釈で与えるのが通常なのでしょうか？	19/2/21	1,906
鳥インフルエンザはよく聞きますが、牛や豚、馬や羊は感染しないのでしょうか？	19/2/22	1,197
次亜塩素酸水は酪農の現場でも使われていますか？	19/2/27	745
ヨーグルトメーカーで作ったヨーグルトの成分は、元のヨーグルトと同じですか？	19/2/28	39,641
トラクタの自動操舵技術は実用段階にあるのですか？	19/5/22	309
牛の第一胃で菌体タンパクを合成するのに必要な「エネルギー」って具体的に何を指しているのですか？	19/9/12	602
水溶性タンパクの高い高水分サイレージに即効性のあるエネルギーとしてブドウ糖がいいと聞きますが、給与量はどれくらいですか？	19/9/12	342
後代検定とゲノム検査の違いはなんですか？	19/10/11	891
牛でもゲノム編集は行われるのでしょうか？	19/10/15	258
乳糖分解酵素がない人でも牛乳料理が大丈夫なのはなぜですか？	19/10/16	4,607
ヨーグルトメーカーでヨーグルトを作るときに、高温殺菌牛乳と低温殺菌牛乳で栄養素や風味に違いはありますか？	19/12/19	3,835
搾乳で初産牛を最初に搾ることが望ましいとされているのはなぜですか？	19/12/20	221
新型コロナウイルスは牛にも感染しますか？	20/2/6	6,469
ヨーグルトを毎日食べていたらコロナウイルス感染の予防になりますか？	20/2/19	54,664
いろいろなサイレージがありますが、使いやすくて飼料中のバランスがいいのはどのサイレージですか？	20/5/14	339
サイレージの可溶性炭水化物(WSC)は糖質と同じ意味ですか？	20/5/15	660
牛の飼料成分で使うTDNは人間におけるカロリーとは違うものなのですか？	20/6/15	3,971
フリーストール牛舎の通路に付ける溝はなぜ「縦溝」がよいのですか？	20/6/18	424
良い黄体とはどのような黄体のことを言うのでしょうか？	20/6/24	1,051
1番草と2番草でそれぞれ1町あたりロールは何本作れますか？	20/9/17	566

## k. ページ別アクセス状況（共進会結果・お知らせ）

外国人技能実習生を受け入れている酪農家の方々への情報提供として、多言語（英語、中国語繁体字、中国語簡体字、韓国語、ベトナム語、モンゴル語）に対応した『新型コロナウイルス感染症の感染予防ハンドブック』（監修：賀来満夫 東北医科大学医学部特任教授・東北大学名誉教授）を紹介しました。

酪農フォトコンテストの開催案内や酪農学園チ・カ・ホdeマルシェの出店者紹介でも閲覧数が多い傾向にありました。

### 2020年度 お知らせ

タイトル	掲載日	閲覧数
【情報提供】新型コロナウイルス感染症の感染予防ハンドブックについて	4/3	702
2019年度事業報告書を公開しました	5/29	303
SARS-CoV2(新型コロナウイルス)の動物への感染に関する情報について	6/3	75
2020年4月・5月アクセスレポート	6/10	81
「北海道酪農技術セミナー2020」の開催中止について	6/19	170
「第15回全日本ホルスタイン共進会 九州・沖縄ブロック大会」の開催中止について	6/26	131
2020年6月アクセスレポート	7/2	49
アニマルウェルフェア畜産協会オンラインシンポジウムの開催について	8/3	263
2020年7月アクセスレポート	8/6	55
『酪農フォトコンテスト』の開催について	9/1	608
2020年8月アクセスレポート	9/3	50
2020年9月アクセスレポート	10/2	36
2020年10月アクセスレポート	11/3	33
【11月30日締切】『酪農フォトコンテスト』作品募集中！	11/23	266
2020年11月アクセスレポート	12/2	30
『2021年版酪農経営日誌』を公開しました	12/10	47
「酪農フォトコンテスト」の入賞作品が決定！！	12/21	70
『酪農学園チ・カ・ホ de マルシェ』の開催について	12/25	57
2020年12月アクセスレポート	1/7	32
『酪農学園チ・カ・ホ de マルシェ』出店者紹介	1/20	694
2021年1月アクセスレポート	2/2	40
第1回 大動物臨床教育オンラインセミナーの開催について	2/18	65
2021年2月アクセスレポート	3/4	18

### 2020年度 共進会情報

協賛する共進会がすべて中止となったため、結果の掲載なし

## ② SNSアクセス状況

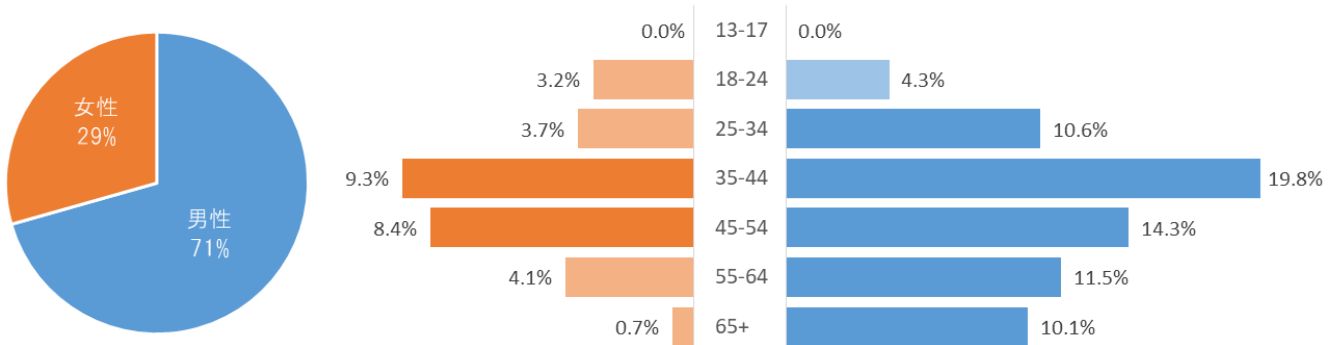
### Facebook

週1回以上の投稿を原則とし、最新記事の紹介、動画や特集などの月間人気ランキング紹介を中心に投稿しました。「未来の酪農家紹介」や「酪農フォトコンテスト」関連の投稿をきっかけに、フォロワーやページに対するいいね！が増加しました。

- フォロワー数 584人(前年度+65人)
- いいね！数 537件(前年度+55件) ※酪農PLUS+のページに対するいいね！
- 投稿数 490件(前年度+187件)



#### ■ フォロワーの性別・年齢



#### ■ 記事別閲覧数

「酪農フォトコンテスト」に関連する投稿は、本学公式アカウントなど多数シェアされたことで閲覧数も多くなりました。

	内 容	掲載日	閲覧数
1	「酪農フォトコンテスト」開催のお知らせ	9/1	2,207
2	「酪農フォトコンテスト」締切まであと2週間	11/16	2,096
3	未来の酪農家紹介「菅峯牧場(北海道釧路市)菅峯大輔さん」	9/30	2,074
4	「酪農フォトコンテスト」入賞作品発表	12/21	1,964
5	新入生のみなさんへ(理事長・学長挨拶動画へのリンク紹介)	4/4	731

#### ■ 記事別いいね！数

昨年度同様、畑情報(トラクターの作業風景など)は人気があり、いいね！数が伸びる傾向にありました。

	内 容	掲載日	いいね数
1	畑情報(2番草刈り取り)	7/28	46
2	畑情報(デントコーン播種)	5/15	45
3	畑情報(菜の花すき込み)	6/9	41
4	新入生のみなさんへ(理事長・学長挨拶動画へのリンク紹介)	4/4	39
5	「酪農フォトコンテスト」開催のお知らせ	9/1	37



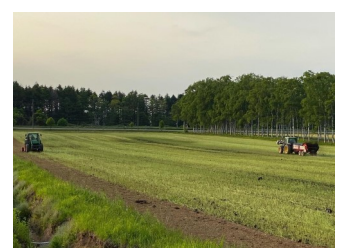
酪農フォトコンテスト



2番草刈り取り



デントコーン播種



緑肥(菜の花)すき込み

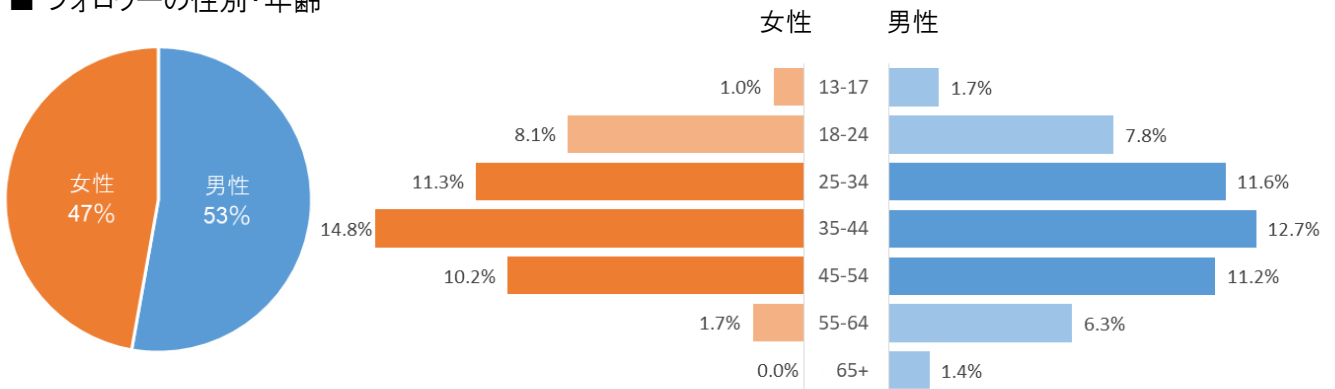
## Instagram

「未来の酪農家紹介」や「酪農フォトコンテスト」関連の投稿に加え、過去に酪農学園フィールド教育研究センターで撮影した乳牛の写真を投稿したことで、フォロワーやいいね！が大幅に増加しました。ほぼすべての投稿をFacebookに同期(シェア)しています

- フォロワー数 394人(前年度+209人)
- いいね！数 7,997件(前年度+4,008件) ※各投稿に対するいいね！の合計
- 投稿数 259件(前年度+96件)



### ■ フォロワーの性別・年齢



### ■ 記事別閲覧数

「未来の酪農家紹介」「畑情報」のほか、酪農学園の乳牛を紹介する投稿でも閲覧数が多い傾向にありました。

	内 容	掲載日	閲覧数
1	未来の酪農家紹介「城田牧場(長野県伊那市)城田幸大さん」	10/30	770
2	未来の酪農家紹介「鈴木牧場(北海道中標津町)鈴木雄大さん」	2 /26	671
3	未来の酪農家紹介「オホーツクファーム喜多牧場(北海道紋別市)喜多遼太郎さん」	11/27	567
4	未来の酪農家紹介「尾曲牧場(鹿児島県南九州市)尾曲夢生さん」	10/ 8	553
5	畑情報(デントコーン収穫)	12/24	540

### ■ 記事別いいね！数

閲覧数と同様に「未来の酪農家紹介」へのいいね！が多く、執筆した生徒・学生を紹介する投稿はいずれも60を超えるいいねを獲得しました。※未来の酪農家紹介の写真はジャーナル・アイのページを参照

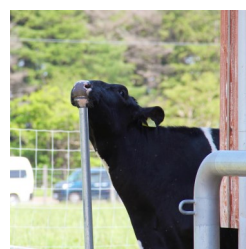
	内 容	掲載日	いいね数
1	未来の酪農家紹介「鈴木牧場(北海道中標津町)鈴木雄大さん」	2 /26	88
2	畑情報(デントコーン収穫)	10/ 8	83
3	未来の酪農家紹介「菅寄牧場(北海道釧路市)菅寄大輔さん」	9 /30	76
4	未来の酪農家紹介「城田牧場(長野県伊那市)城田幸大さん」	10/30	72
5	未来の酪農家紹介「寺本牧場(北海道稚内市)寺本遥香さん」	3 /21	



デントコーン収穫



酪農学園の牛紹介



酪農学園の牛紹介



酪農学園の牛紹介

### ③ 共進会協賛状況

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、協賛するすべての共進会が開催中止となりました。

地区	共進会名	協賛内容	開催日
全国	第15回全日本ホルスタイン共進会(5年毎)	協賛金・ブース出展	中止
北海道	北海道B&Wショウ	広告料:30,000円	中止
石狩	石狩スプリングショウ	協賛金:10,000円	中止
	江別市ホルスタイン共進会	カップ:3,000円	中止
	道央酪農祭ホルスタイン共進会	副賞:2セット	中止
後志	後志B&Wショウ	副賞:2セット	中止
日高	日胆畜産共進会	副賞:2セット	中止
渡島	道南畜産共進会	副賞:2セット	中止
上川	上川管内総合家畜共進会	副賞:2セット	中止
留萌	道北B&Wショウ	副賞:2セット	中止
宗谷			
オホーツク	北見管内総合家畜共進会	副賞:2セット	中止
	西紋B&Wショウ	協賛金:10,000円	中止
	JAオホーツクはまなす乳牛・肉牛共進会	副賞:2セット	中止
十勝	十勝B&Wショウ	副賞:2セット	中止
	十勝総合畜産共進会	副賞:2セット	中止
釧路	釧路ホルスタイン共進会(2019年度新規)	副賞:2セット	中止
根室	根室ホルスタイン共進会	副賞:2セット	中止
	根室市ホルスタイン共進会	副賞:2セット	中止
東北地方			
岩手県	岩手県沿岸ホルスタイン共進会	副賞:2セット	中止
	岩手県沿岸B&Wショウ	副賞:2セット	中止
	洋野・新岩手ホルスタインショウ	副賞:2セット	中止
	陸中ホルスタインB&Wショウ	副賞:2セット	中止
関東地方			
栃木県	栃木県ホルスタイン共進会(栃木県酪農フェア)	-	中止
		計	22件

副賞内容:クリアマジック2本・ブラックマジック1本/セット

## (6) 新型コロナウイルス感染症によって中止が決定されたイベント一覧

### ① 本学主催のイベント

イベント名称	予定時期	イベント概要
大動物継続教育合同セミナー	5月2週目	産業動物臨床獣医師に対する卒後臨床教育事業の一環となる大動物臨床教育セミナーと、大動物臨床研究会特別セミナーとの合同開催を行っている。 2020年度に関しては大動物臨床教育セミナーのみオンラインで実施した。
酪農学園大学☆ひらめき教室	8月	本学で行っている教育、研究成果を、小学校5・6年生の皆さんが“直に見る、聞く、触れる”ことを通じて科学の面白さを感じてもらおうプログラム。
動物愛護フェスティバル	9月最終週	江別市民に対し動物愛護精神を伝えると共に、適正な飼育を啓蒙普及し、人と動物の良い関係を築く事を目的として、市民参加型のイベントを行っている。
酪農公開講座	10月～12月	全国の酪農家・酪農関係企業など向けに開催している公開講座。例年は北海道内、北海道外の2回開催していたが2020年度はオンラインで実施した。

### ② 学外主催のイベント

イベント名称	予定時期	イベント概要
羽幌町への学生派遣(毛刈り・分娩)	4・5月、2月	羽幌町焼尻島のめん羊牧場にて本学学生がめん羊の毛刈りや分娩に関する実習を行っている。 (主催:羽幌町農林水産課)
北海道ブラック&ホワイトショウ	5月	北海道ホルスタイン共進会場(安平町)にて例年開催されている共進会。 (主催:北海道ホルスタイン改良協議会)
江別ホルスタインショウ	7月	江別市農村広場で開催され、江別市内の酪農家が出品する共進会。本学の乳牛研究会やとわの森三愛高校が飼養する乳牛も出品される。 (主催:江別市ホルスタインショウ実行委員会)
元気!ミルク大学	8月上旬の3泊4日	北海道内の小学5・6年生に牛乳や酪農のすばらしさを知ってもらいたい、という思いから20年以上続いているイベント事業。本学を会場に実施 (主催:牛乳普及協会、ホクレン農業協同組合)
中標津出張セミナー	8月下旬	本学と地域総合交流協定を締結している中標津町の依頼により講師を派遣して行われるセミナー。酪農家に向けた講演、一般の方に向けた講演を2人の講師が行う。 (主催:中標津町)
雪印メグミルク新人研修	9月	北海道内の雪印メグミルク工場などに新規で採用された職員が、酪農に関する講義を聴講したり、牛舎内の仕事などを実学的に学ぶ。 (主催:雪印メグミルク人材開発センター)
えべつものづくりフェスタ	9月	ほくでん総合研究所にて開催される、市民向けのイベント。江別市内の企業・団体が子供向けブースを出展している。本学は例年、中小家畜研究会の学生による羊の毛を使ったマスコット作りなどを行っている。 (主催:ほくでん総合研究所)
栗山キッズ	10月	本学「白樺祭」の時期にあわせて栗山町の小学生が来学し、本学教職コースの学生がレクリエーションなどを通して交流する。 (主催:栗山町教育委員会)
えべつ健康フェスタ	10月	江別市民の健康増進を目的として開催されているイベントで、本学からは骨密度測定や管理栄養士によるお悩み相談などを行っている。 (主催:江別市)
乳牛改良・審査のサクセッサープログラム	10月下旬(隔年)	乳牛改良事業の推進と若手酪農後継者育成を達成するべく、乳牛改良に関する基礎知識の向上と乳牛審査技術の習得を目的としたプログラム。 (主催:北海道ホルスタイン農業協同組合、ジェネティクス北海道、北海道酪農検定検査協会)
えべつ未来づくり学生コンペティション	2月(隔年)	江別市内大学・大学院の学生が、学生ならではの視点で、まちづくりのアイデアについてプレゼンを行っている。 (主催:えべつ未来づくり学生コンペティション実行委員会)

### 3. 国際交流課

#### (1) 学術交流協定

23カ国45機関(大学:36校(20カ国) 研究施設等:9機関(9カ国) (2021年 3月現在)

(締結年月日順)

締結年月日	機関名	国名	自動延長年数	次回更新
1985. 8. 1	アルバータ大学	カナダ	なし	無期限
1988. 8. 9 (2002.3.6再締結)	内蒙古農業大学	中国	3年	2023. 3
1988.11.17	オハイオ州立大学 獣医学部とは1988.11.17に締結 食品・農業・環境科学部とは1998.12.17に締結	アメリカ	なし	無期限
1991. 6. 3	コーネル大学 畜産学部	アメリカ	なし	無期限
1994. 5.19	ワルシャワ生命科学大学(旧ワルシャワ農業大学)	ポーランド	5年	2024. 5
1994.10.14 (2003.7.29再締結)	国立韓京大学校	韓国	5年	2023. 7
1995.2.15	国立畜産研究所	デンマーク	5年	2025. 2
1997. 7.31	新疆農業大学	中国	5年	2022. 7
1997.11.30 (2001.8.9再締結)	国立嘉義大学	台湾	5年	2021.8→2026.8
1998. 5. 7 (2003.6.25再締結)	オールズカレッジ	カナダ	5年	2023. 6
1998.8.31	国立屏東科技大学	台湾	3年	2022. 8
2001.1.22 (2007.9.4再締結)	ハノーバー獣医科大学	ドイツ	なし	—
2001.10.31	韓国食品開発研究院	韓国	5年	2021.10.30解除予定
2002. 2. 4 (全学2015.3.2)	東フィリピン大学 (獣医学部とは2002.2.4に締結)	フィリピン	5年	2025.3(全学)
2002. 2.16	内蒙古民族大学	中国	3年	2023. 2
2005. 4.11	フィンドレー大学	アメリカ	5年	2025. 4
2006. 7.24 (2017.10.20再締結)	サスカチュワン大学	カナダ	5年	2022.10
2007. 8.15 (2017.10.31再締結)	国立中興大学	台湾	5年	2022.10
2007.10.25	サムヒギンボトム農業科学技術大学(旧アラハバール農業大学)	インド	5年	2022.10
2009. 3.23	モンゴル生命科学大学(旧モンゴル国立農業大学) (獣医学研究所とは2017.8.21に締結)	モンゴル	5年	2024.3(全学) 2022.8(獣研究)
2009.12.15	国立韓国農水産大学	韓国	5年	2021.3.31解除予定
2009.12.25	国立バイオテクノロジーセンター	カザフスタン	5年	2024.12
2009.12.26	アルファラビカザフ国立大学	カザフスタン	5年	2024.12
2011. 2.22	アスンシオンカトリック大学	パラグアイ	5年	2026. 2
2011. 8.24 (全学2016.4.13)	サバ大学 (熱帯生物保全研究所とは2011.8.24に締結)	マレーシア	5年	2026.4(全学)
2012.1.20	陝西省動物研究所	中国	5年	2022. 1
2012. 2.17	国際家畜研究所	ケニア	3年	2024. 2
2012.8.18 (2016.8.10再締結)	フスタイ国立公園	モンゴル	5年	2021.8→2026.8
2013.4.18	スイス科学研究所	コートジボワール	5年	2023. 4

締結年月日	機関名	国名	自動延長年数	次回更新
2013. 9.23	マヒドン大学 熱帯医学部とは2013.9.23に締結 獣医学部とは2015.11.25に締結	タイ	5年	2023. 9(熱医) 2025.11(獣医)
2013. 9.27	ハノイ公衆衛生大学	ベトナム	5年	2023. 9
2013. 10.7	獣医科学大学	ミャンマー	5年	2023.10
2014. 2.28	チュラーロンコーン大学	タイ	5年	2024.2
2014. 3. 3	カセサート大学	タイ	5年	2024.3
2014. 6.16	極東農業大学	ロシア	5年	2024.6
2014. 7.29	ベトナム国立農業大学	ベトナム	5年	2024.7
2015. 2.24	グラスゴー大学生物多様性・家畜衛生・比較医学研究所	イギリス	5年	2025.2
2015. 3.25	保健省医科学局	タイ	なし	—
2015. 4.28	コンケン大学	タイ	5年	2025.4
2016. 3.22	タマサート大学	タイ	5年	2026.3
2019. 1.28	国立獣医学研究所	ベトナム	なし (5年ごと)	2024.1
2019. 1.29	パデュー大学	アメリカ	なし (5年ごと)	2024.1
2019. 3.29	マケレレ大学	ウガンダ	なし (5年ごと)	2024.3
2020. 7.23	パドヴァ大学 <span style="color:red">NEW</span>	イタリア	なし (5年ごと)	2025.7
2021. 2.25	モンゴル国立大学 <span style="color:red">NEW</span>	モンゴル	なし (5年ごと)	2026.2

#### 【協定の締結について】

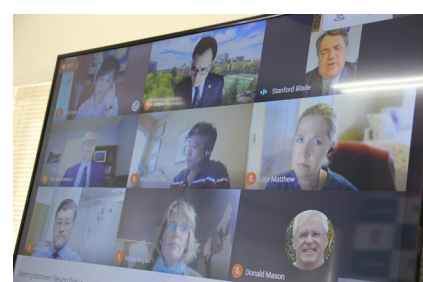
- ・2020年7月23日、イタリア・パドヴァ大学と学術交流協定を締結しました。
- ・2021年2月25日、モンゴル・国立大学と学術交流協定を締結しました。

#### 【協定機関との協定更新に係る交渉について】

- ・2019年度から2021年度に協定期限(自動更新)のある20の機関と連絡を取り、2021年3月現在16の機関と協定の更新を確認、2機関との協定解除を合意、2機関と継続協議中です。

#### 【協定機関との交流について】

- ・2020年12月16日、タイ・タマサート大学と合同オンラインセミナーを開催しました。
- ・2021年3月23日、カナダ・アルバータ大学とオンラインミーティングを行い、今後の学生/研究者交流について協議を行いました。





## (2) 研究者・研修員・訪問者の受入れ

- ① 2020年度海外招聘研究者として2名の受入を決定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2021年度に延期して受入れることを決定しました。
- ② 2019年度から本学に滞在し研究中の研究者1名を、継続して受入れました。

所属機関	種別	目的	受入期間	担当教員
モンゴル・国立中央獣医ラボラトリー	協定外	研究	4/1-10/10	獣医 萩原

※2019年度から引き続き研究継続・担当教員交代

- ③ 2020年度のJICA研修は、実際の研修員受入は実施せず、すべてオンラインでの研修、教材作成などを行いました。
- ④ 2019年度受入（獣医・臼井准教授）の外国人学生、エジプト・マンスーラ大学のRanaさんが本学での研究成果をもとにマンスーラ大学で学位を取得されました。（2020年11月）



## (3) 学生の受入れ

2020年度は、新型コロナウイルス感染の拡大により、以下の協定機関からの学生受入を中止しました。

所属機関	人数	受入期間(予定)	代替プログラム
アメリカ・フィンドレー大学	5名程度	5月～6月	なし
アメリカ・パデュー大学	5名程度	6月	なし
マレーシア・サバ大学	6名程度	2月～5月	なし
タイ・カセサート大学	5名	9月～12月	オンライン学術交流プログラム(11月～2月)
台湾・中興大学	1～2名	1月～2月	なし

## (4) 学生の派遣

2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大、外務省感染症危険レベルの発出により、すべての学生派遣プログラムを中止しました。

### 国際交流課プログラム

派遣先	プログラム種別	人数	派遣期間(予定)	代替プログラム
アメリカ・フィンドレー大学	2020年度ベケット奨学金派遣留学プログラム	1名	2020年8月～2021年5月	なし
カナダ・アルバータ大学	夏季研修プログラム	5名程度	2020年8月～9月	※オンライン留学プログラム新設
カナダ・アルバータ大学	英語研修	1名	2020年5月～2021年2月	なし
カナダ 北米地域	海外農業研修サポートプログラム	1名	夏季もしくは春季	なし
タイ・カセサート大学	大学院生留学サポートプログラム	1名	随時	なし
タイ・カセサート大学	獣医単位互換プログラム	5名	2020年9月～12月	オンライン学術交流プログラム(11月～2月)
アメリカ・フィンドレー大学	ベーシック・アニマルハンドリングプログラム	5名程度	2021年3月	なし

### トビタテ！留学JAPAN

採用期	派遣先(予定)	人数	派遣期間(予定)
第12期	フィジー	1名	2020年8月～9月→2021年度に延期

## JCSOS海外留学生管理システム

・学生を海外に派遣する際、万が一の事件事故発生時にサポートを受けるため、緊急事故支援システムに加入しています。

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で全ての海外派遣プログラムが中止となり、渡航者がいなかったため加入手続きは行いませんでした。

加入年度・月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	保険料(円)	
2020	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
2019	件数	1	0	3	4	12	7	4	2	3	3	5	0	44	257,962
	人数	10	0	3	7	57	19	6	14	4	4	19	0	143	
2018	件数	3	0	2	1	9	6	2	5	3	4	5	3	43	264,445
	人数	11	0	2	4	38	19	3	16	11	4	31	5	144	
2017	件数	3	1	2	2	10	12	3	6	1	2	4	4	50	453,753
	人数	8	2	2	4	42	48	5	20	7	3	14	13	168	
2016	件数	2	1	5	2	10	9	2	1	2	5	5	5	49	348,611
	人数	7	1	6	4	39	51	2	1	2	9	15	24	161	

## (5) 学生の留学についての意識アンケート

### キャリアベーシック授業内アンケート実施

2020年7月、農食環境学群2年次(管理栄養士コース除く)対象の必修授業、キャリアベーシックで「留学×キャリア～大学生活を考える」というオンライン授業を担当しました。授業受講者にアンケートを実施し、本学学生の留学についての意識を調べました。

それぞれの学生の専攻により、希望する留学内容、興味のある国は多岐にわたっており、より一層学生のニーズに沿ったプログラムの開発が求められます。

どの学類からも希望のあった語学と文化を学べる留学プログラムとして、国際交流課ではアルバータ大学夏季研修プログラムを実施しています。また奨学金も支給しており、ほとんどの学生が負担に感じている費用面でも支援体制が整っているのですが、毎年希望者は2～5名程度です。学生へのPR方法が課題であることが明確になりました。

また留学に興味はあるものの国や内容については具体的に検討していない、また本学の留学プログラムや留学状況を知らなかった学生も多く、このように留学に興味がない学生や漠然と留学について考えているものの行動に移していない学生に対しての積極的なアプローチを検討していきます。

### キャリアベーシック受講者と授業実施日

循環農学類 244名:7月15日(水)～7月21日(火)

食と健康学類 95名:7月16日(木)～7月22日(水)

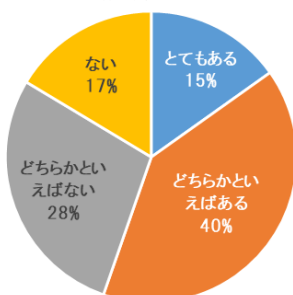
環境共生学類 111名:7月16日(木)～7月22日(水)

### アンケート集計結果

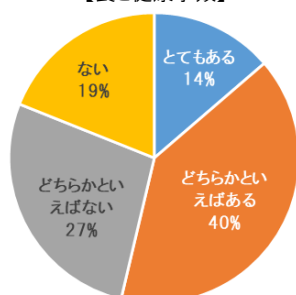
【質問1】留学に興味があるか

	とてもある	どちらかといえばある	どちらかといえばない	ない	合計
循環農学類	37	98	69	40	244
食と健康学類	13	38	26	18	95
環境共生学類	18	54	28	11	111
合計	68	190	123	69	450

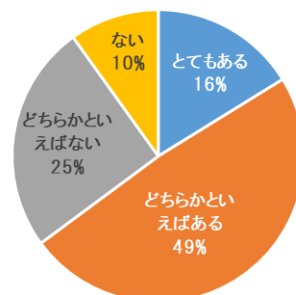
【循環農学類】



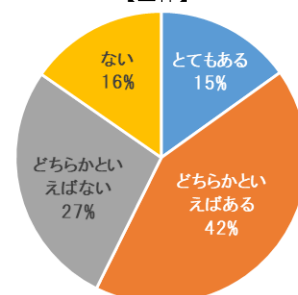
【食と健康学類】



【環境共生学類】

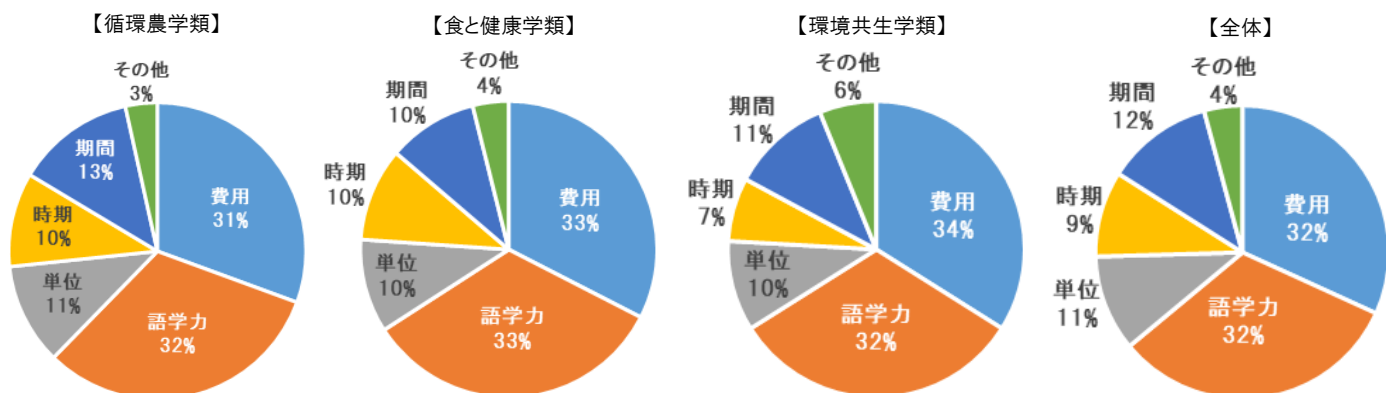


【全体】

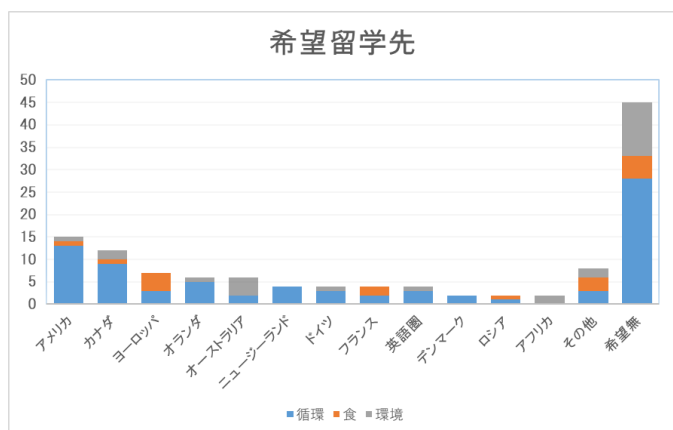


【質問2】留学するために不安や負担に感じること(複数可)

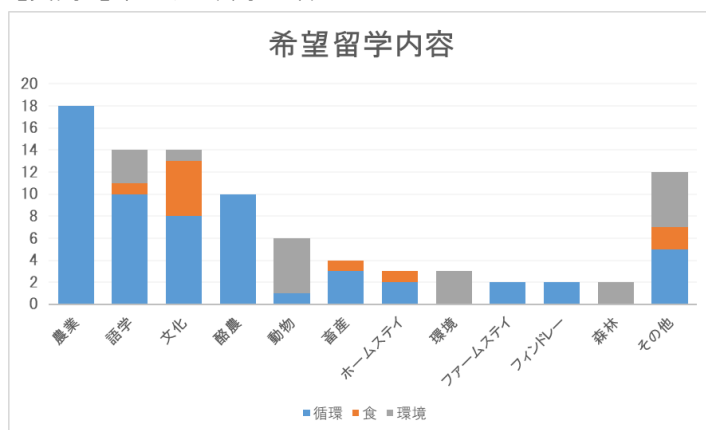
	費用	語学力	単位	時期	期間	その他	合計
循環農学類	194	201	70	65	82	22	634
食と健康学類	83	85	26	26	25	10	255
環境共生学類	93	88	27	19	30	17	274
合計	370	374	123	110	137	49	1,163



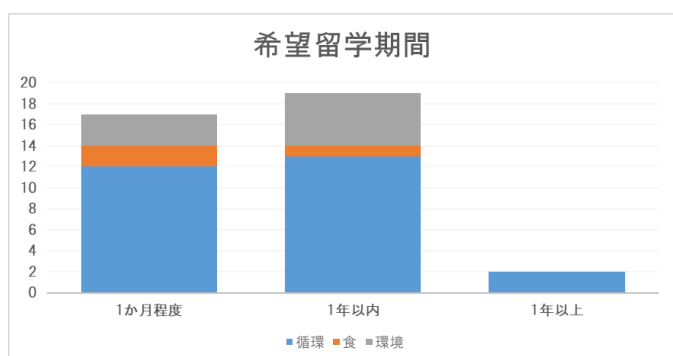
【質問3】希望する留学先国



【質問4】希望する留学内容



【質問5】希望する留学期間



## (6) アルバータ大学オンライン留学プログラム

本学では毎年夏休みに、カナダのアルバータ大学で約4週間の研修プログラムを実施しています。

しかし今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響によりカナダへの渡航ができなかったため、アルバータ大学が新たにオンラインでの約2週間の英語研修プログラムを実施しました。プログラムは夏と春に行われ、夏には学生4名と職員1名、春には学生4名が参加しました。

プログラムでは約2週間、アルバータ大学の英語学校の先生によるリアルタイムの授業を受講し、他大学の学生とオンラインでつながり、カナダの文化や環境、食について英語で話し合い、語学だけでなく多様な文化について学びました。

夏季プログラム：2020年8月11日～8月22日(学生4名、職員1名参加)

春季プログラム：2021年3月1日～3月12日(学生4名参加)

オンライン授業の様子



## (7) カセサート大学オンライン学術交流プログラム

本学の協定校であるタイ・カセサート大学の獣医学部と本学獣医学類とで毎年実施されている単位互換プログラムは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により派遣・受入とも中止となりました。このプログラムの代替として、オンライン学術交流プログラムを実施しました。これは国際カンファレンスへの参加、学生同士のSNS交流、特別セミナーへの参加、学生によるプレゼンテーションを通して両大学の学術交流を図るものです。

11月23日～25日にカセサート大学主催による国際カンファレンスが実施され、本学の学生教職員が、自分の興味のあるセッションに参加し、学生**6名**から参加レポートの提出がありました。

2月12日にはカセサート大学教授による特別セミナーが開かれました。セミナーでは”Aquatic Medicine in KU”(カセサート大学における水生医学)、“Current Public Health Concerns in Thailand”(現在のタイの公衆衛生)の2科目について、カセサート大学の専門家がライブで授業を行い、学生、教員含め**20名**近くが参加しました。

2月25日には両大学の学生グループによる共同プレゼンテーションが行われました。このプレゼンテーションに向けては、カセサート大学と本学の学生合計**6名**が混合チーム2組に分かれLINEで意見交換やプレゼンテーションの準備を進めました。Group-Aのテーマは“Stray Dog”(野良犬について)、Group-Bのテーマは“Diseases of Concern in Livestock”(生産動物の懸念される病気について)でした。発表の後は、お互いの教員や学生から質問が飛び交い、良い意見交換の場となりました。

3月22日の修了証授与式をもってプログラムは終了しました。カセサート大学にとっても本学にとっても、一連のプログラムを遂行しプレゼンテーションまで行えたことはとても良い機会となり、このようにオンラインを積極的に活用した学術交流は、今後のプログラム運営にとっても非常に有意義な取り組みとなりました。



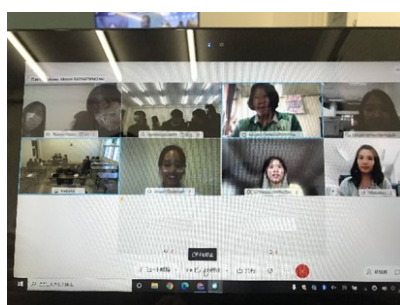
国際カンファレンスポスター



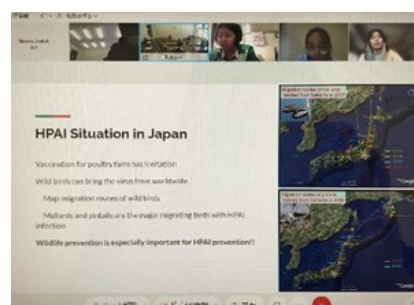
学生プレゼンテーション



特別セミナー、カセサート大学水生医学、魚の手術ライブ授業



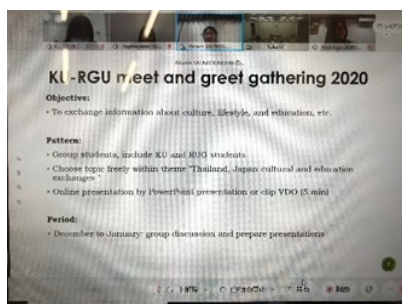
学生プレゼンテーション



学生プレゼンテーション



特別セミナー受講生の様子



学生交流、プレゼンテーションにむけて



授与式

## (8)トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム

「トビタテ！留学JAPAN」とは2013年10月から文部科学省主導で開始した留学促進キャンペーンで、中でも2014年からスタートした「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」は、官民協働で取り組む海外留学支援制度です。派遣留学生は支援企業と共にグローバル人材コミュニティを形成し、「産業界を中心に社会で求められる人材」、「世界で、又は世界を視野に入れて活躍できる人材」へと育成され、帰国後はその経験をより広く伝えることで日本全体の留学機運を高めることに貢献することが期待されています。

本学は第3期生(2015年度)申請から毎年、学内の応募を受け付け、2021年3月現在19件の申請(2021年5月現在審査中14期2件を含む)、**6名**の採用実績があります。

### トビタテ！留学JAPAN 本学申請状況

派遣期	申請コース	全国		本学		
		応募	採用	申請	書面合格	採用
第13期 2020年度	①理系、複合・融合系人材コース	521	採用中止	5	採用中止	
	②未来テクノロジー人材枠			0		
	③新興国コース	163		0		
	④世界トップレベル大学等コース	196		0		
	⑤多様性人材コース	688		0		
	合計	1,568		5		
第12期 2020年度	①理系、複合・融合系人材コース	471	234	2	2	1
	②未来テクノロジー人材枠	49	31	0	0	0
	③新興国コース	109	49	0	0	0
	④世界トップレベル大学等コース	72	26	0	0	0
	⑤多様性人材コース	399	167	0	0	0
	合計	1,100	507	2	2	1
第10期 2019年度	①理系、複合・融合系人材コース	535	185	3	2	2
	②未来テクノロジー人材枠	51	36	0	0	0
	③新興国コース	155	59	0	0	0
	④世界トップレベル大学等コース	108	30	0	0	0
	⑤多様性人材コース	556	106	0	0	0
	合計	1,405	416	3	2	2
第9期 2018年度	①理系、複合・融合系人材コース	479	202	1	1	1
	②未来テクノロジー人材枠	37	27	0	0	0
	③新興国コース	202	63	0	0	0
	④世界トップレベル大学等コース	292	91	0	0	0
	⑤多様性人材コース	783	119	0	0	0
	合計	1,793	502	1	1	1

派遣期	申請コース	全国		本学		
		応募	採用	申請	書面合格	採用
第8期 2018年度	①理系、複合・融合系人材コース	508	206	0	0	0
	②未来テクノロジー人材枠	44	32	0	0	0
	③新興国コース	182	56	0	0	0
	④世界トップレベル大学等コース	185	43	0	0	0
	⑤多様性人材コース	577	114	0	0	0
	合計	1,496	451	0	0	0
第7期 2017年度	①理系、複合・融合系人材コース	537	228	0	0	0
	②未来テクノロジー人材枠	138	45	0	0	0
	③新興国コース	282	96	0	0	0
	④世界トップレベル大学等コース	795	121	0	0	0
	⑤地域人材コース(北海道)	12	5	1	1	1
	合計	1764	495	1	1	1
第6期 2017年度	①理系、複合・融合系人材コース	491	241	2	1	1
	②新興国コース	136	64	0	0	0
	③世界トップレベル大学等コース	127	58	0	0	0
	④多様性人材コース	545	119	0	0	0
	合計	1,299	482	2	1	1
第5期 2016年度	①理系、複合・融合系人材コース	483	187	1	0	0
	②新興国コース	171	55	0	0	0
	③世界トップレベル大学等コース	287	69	0	0	0
	④多様性人材コース	714	111	1	0	0
	合計	1,655	422	2	0	0
第4期 2016年度	①理系、複合・融合系人材コース	459	206	0	0	0
	②新興国コース	174	47	0	0	0
	③世界トップレベル大学等コース	157	52	0	0	0
	④多様性人材コース	576	102	0	0	0
	合計	1,366	407	0	0	0
第3期 2015年度	①理系、複合・融合系人材コース	367	163	0	0	0
	②新興国コース	87	26	0	0	0
	③世界トップレベル大学等コース	209	77	0	0	0
	④多様性人材コース	524	96	1	1	0
	合計	1,187	362	1	1	0

## (9) 日本学生支援機構海外留学支援制度(協定派遣・協定受入)

海外留学支援制度は、諸外国の高等教育機関との学生交流に関する協定等に基づき行われるプログラムに参加する学生に対して、留学に係る費用の一部を日本学生支援機構(JASSO)が奨学金として支援する制度です。

2020年度は派遣3件、受入2件の継続プログラム(採択額6,420,000円)が採択されましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により派遣受入ともにプログラムを実施することができませんでした。

	派遣				受入			
	プログラム名	採択額	採択人数	派遣人数	プログラム名	採択額	採択人数	受入人数
2020 新規	リモートセンシング・GIS技術による生態系サービス評価手法開発研修(派遣)	申請できず						
	人間とオオカミが本当に共存できるのか(協定派遣)	申請できず						
	沙漠化防止のための内モンゴル民族大学技術研修(派遣)	申請できず						
	合計	0						
2020 継続	地球上で最も生物多様性の高い地域において野生生物保全手法を学ぶマレーシア・サバ大学との相互協力研修	2,800,000	20	0	生物多様性保全のためのマレーシア・サバ大学と酪農学園大学との	1,680,000	6	0
	マレーシアサバ大学における生物多様性保全のためのGIS解析技術研修	210,000	1	0	タイ・カセサート大学獣医学部の単位認定研修プロ	960,000	4	0
	沙漠化防止のための内モンゴル民族大学における自然環境保全研修	770,000	11	0				
	合計	3,780,000	32	0		2,640,000	10	0
<b>2020年度計</b>		<b>3,780,000</b>	<b>32</b>	<b>0</b>		<b>2,640,000</b>	<b>10</b>	<b>0</b>
2019 新規	リモートセンシング・GIS技術による生態系サービス評価手法開発研修(派遣) ※追加	360,000	3	3	アジアの環境保全のための内モンゴル民族大学と酪農学園大学との相互協力研	0	0	0
	沙漠化防止のための内モンゴル民族大学技術研修(派遣)	0	0	0	タイ・コンケン大学獣医学部の単位認定研修プログラム	0	0	0
	合計	360,000	3	3		0	0	0
2019 継続	地球上で最も生物多様性の高い地域において野生生物保全手法を学ぶマレーシア・サバ大学との相互協力研修	2,940,000	21	14	生物多様性保全のためのマレーシア・サバ大学と酪農学園大学との相互協力研修	1,440,000	6	6
	沙漠化防止のための内モンゴル民族大学における自然環境保全研修	660,000	11	4	タイ・カセサート大学獣医学部の単位認定研修プログラム	960,000	4	4
	マレーシアサバ大学における生物多様性保全のためのGIS解析技術研修	210,000	1	1				
	合計	3,810,000	33	19		2,400,000	10	10
<b>2019年度計</b>		<b>4,170,000</b>	<b>36</b>	<b>22</b>		<b>2,400,000</b>	<b>10</b>	<b>10</b>

	派遣				受入			
	プログラム名	採択額	採択人数	派遣人数	プログラム名	採択額	採択人数	受入人数
2018 新規	地球上で最も生物多様性の高い地域において野生生物保全手法を学ぶマレーシア・サバ大学との相互協力研修	3,570,000	30	24	タイ・カセサート大学獣医学部の単位認定研修プログラム	1,200,000	5	5
	リモートセンシング・GIS技術による生態系サービス評価手法開発研修(派遣) ※追加	360,000	3	3				
	沙漠化防止のための内モンゴル民族大学技術研修(派遣)	0	0	0				
	遊牧民とハイイロオオカミの共存のあり方に関する現地研修(派遣)	0	0	0				
	合計	3,930,000	33	27		1,200,000	5	5
2018 継続	マレーシアサバ大学における生物多様性保全のためのGIS解析技術研修	210,000	1	1	生物多様性保全のためのマレーシア・サバ大学と酪農学園大学との相互協力研修	1,440,000	6	6
	沙漠化防止のための内モンゴル民族大学における自然環境保全研修	660,000	11	4				
	合計	870,000	12	5		1,440,000	6	6
	2018年度計	4,800,000	45	32		2,640,000	11	11
2017	砂漠化防止のための内モンゴル民族大学における自然環境保全研修	900,000	15	8	生物多様性保全のためのマレーシア・サバ大学と酪農学園大学との相互協力研修	1,440,000	6	6
	マレーシアサバ大学における生物多様性保全のためのGIS解析技術研修	630,000	3	3				
	沙漠化防止のための内モンゴル民族大学技術研修(派遣) ※追加	120,000	1	1				
	地球上で最も生物多様性の高い地域において野生生物保全手法を学ぶマレーシア・サバ大学との相互協力研修	0	0	0				
	リモートセンシング・GIS技術による生態系サービス評価手法開発研修(派遣)	0	0	0				
	遊牧民と野生動物の共存のあり方に関する現地研修(派遣)	0	0	0				
	2017年度計	1,650,000	19	12		1,440,000	6	6



	派遣				受入			
	プログラム名	採択額	採択人数	派遣人数	プログラム名	採択額	採択人数	受入人数
2016	リモートセンシング・GIS技術による生態系サービス評価手法開発研修(派遣) ※追加	120,000	1	1	生物多様性保全のためのマレーシア・サバ大学と酪農学園大学との相互協力研修	0	0	0
	生物多様性保全のためのマレーシアサバ大学と酪農学園大学との相互協力研修 ※追加	1,400,000	20	11				
	沙漠化防止のための内モンゴル民族大学における自然環境保全研修	0	0	0				
	マレーシア・サバ大学における生物多様性保全のためのGIS解析技術研修	0	0	0				
	沙漠化防止のための内モンゴル民族大学技術研修(派遣)	0	0	0				
	<b>2018年度計</b>	<b>1,520,000</b>	<b>21</b>	<b>12</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
2015	リモートセンシング・GIS技術による生態系サービス評価手法開発研修(派遣)	120,000	1	1	生物多様性保全のためのマレーシアサバ大学と酪農学園大学との相互協力研修 ※追加	960,000	4	4
	生物多様性保全のためのマレーシアサバ大学と酪農学園大学との相互協力研修	1,260,000	18	8				
	沙漠化防止のための内モンゴル民族大学と酪農学園大学との相互協力研修	0	0	0				
	カザフスタン・アルファラビカサフ国立大学における環境・野生動物保護管理研修	0	0	0				
	マレーシアサバ大学における生物多様性保全のためのGIS解析技術研修	0	0	0				
	沙漠化防止のための内モンゴル民族大学技術研修(派遣)	0	0	0				
	<b>2015年度計</b>	<b>1,380,000</b>	<b>19</b>	<b>9</b>		<b>960,000</b>	<b>4</b>	<b>4</b>

## (10) TOEIC-IP

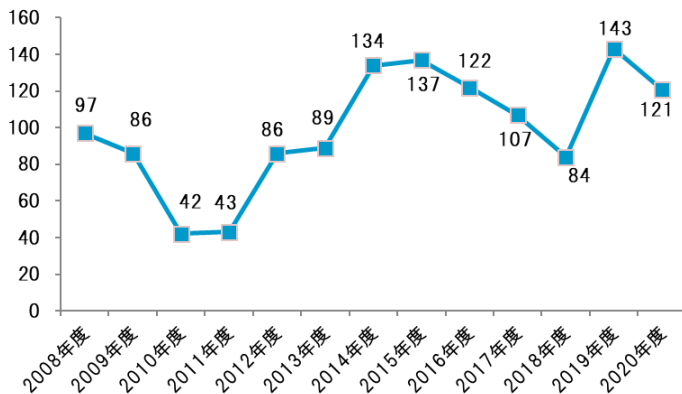
### 2020年度スコア／過去のTOEIC-IPスコアの推移

新型コロナウイルスの影響で入構制限がかかり、5月と6月に行われる予定だった試験が中止となりました。その代わりオンラインで行われるTOEIC-IP試験を8月と2月に開催しました。オンラインでの試験は約2週間の受験期間を設け、その間24時間自宅から受験することが可能になりました。すべての受験者(121名)には大学から2,000円を補助しました。

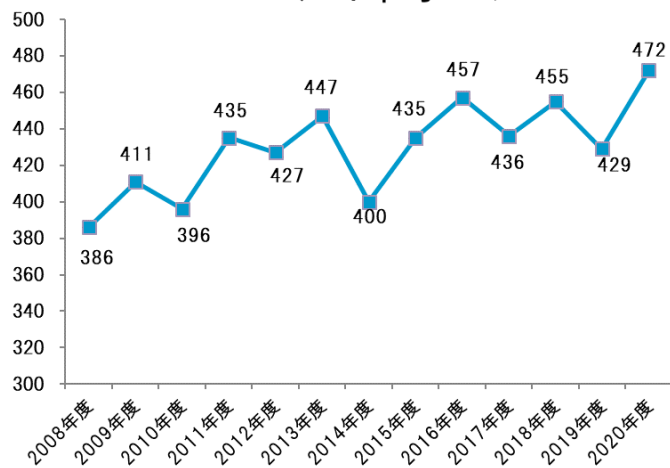
2020年度	受験者数	最低	最高	平均	～299	300～ 399	400～ 499	500～ 599	600～ 699	700～ 799	800～
第59回 ※中止 5月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第60回 ※中止 6月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第1回オンライン 6月	14	210	800	473.9	1	5	2	3	1	1	1
第2回オンライン 8月	23	215	945	516.5	2	6	4	3	4	1	3
第61回 10月	17	185	975	441.2	4	4	3	3	2	0	1
第62回 12月	15	290	770	507.0	2	3	2	4	1	3	0
第63回 1月	23	190	770	383.9	8	6	5	1	2	1	0
第3回オンライン 2月	25	235	980	513.6	2	6	6	3	2	3	3
(アルバータオンライン参加者) 3月	4	285	535	443.7	1	0	1	2	0	0	0
	受験者数	最低	最高	平均	～299	300～ 399	400～ 499	500～ 599	600～ 699	700～ 799	800～
2020年度 全7回	121	185	980	472	20	30	23	19	12	9	8
2019年度 全5回	143	195	890	429	36	31	32	24	11	5	4
2018年度 全5回	84	75	935	455	11	24	17	19	8	1	4
2017年度 全5回	107	175	850	436	24	21	24	23	12	1	2
2016年度 全5回	122	205	960	457	13	30	39	24	9	3	4
2015年度 全5回	137	130	970	435	31	34	29	22	8	7	6
2014年度 全5回	134	160	880	400	30	49	25	17	11	0	2
2013年度 全6回	89	185	745	447	16	16	22	23	9	3	0
2012年度 全3回	86	165	820	427	14	27	21	12	9	2	1
2011年度 全3回	43	200	755	435	9	9	8	15	1	1	0
2010年度 全3回	42	190	845	396	10	15	9	5	0	1	2
2009年度 全3回	86	125	715	411	15	30	20	11	9	1	0
2008年度 全3回	97	185	685	386							
2007年度 全3回		175	800	397							
2006年度 全3回		170	830	402							
2005年度 第1回		225	580	349							

2020年度受験料:4,309円(会場、84円郵送料込み)、4,230円(オンライン)

(人) TOEIC-IPテスト受験者総数



(点) TOEIC-IPテスト平均スコア



## TOEIC対策e-learning

TOEICのスコア向上対策として、2020年度はニューブレインアライアンス社のe-learningを5,500円にて学生85名に提供しました。今年度もキャリアセンターと連携し12月1日までに進捗率が80%を超えた場合は、TOEIC-IPテストの受験料を1回無料としたところ、80%を超えた学生は20名となり、TOEIC-IPテストを無料で受験した学生は18名(対象試験を12月、1月、2月オンラインと3回に拡大)となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大、緊急事態宣言による入構制限などの影響から受講人数は前年度から16名減となりました。進捗率をクリアした学生の割合は約2割(85名中20名)となっています。

TOEIC-IPテストは公開テストと比べ受験料も安く、気軽に受けることができます。しかし本学の平均点はまだ高くありません。2021年度はより受講者のレベルにあったe-learningのコースが幅広く選択できるよう工夫をし、語学力向上のためのサポートを継続して行っています。

## e-learning進捗(教職員含む) ※各年度末時点

## Brains e-Learning

年度	コース	受講者数	80%以上達成		50~79%達成		0~49%達成		備考
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	
2020年度	Brains Aコース(初級)	14	9	64.3%	0	0.0%	5	35.7%	※A、Bコース両方受けている学生1名 ※2020/12/1時点の80%達成学生 A:8名 B:8名 C:4名 合計20名
	Brains Bコース(中級)	38	8	21.1%	0	0.0%	30	78.9%	
	Brains Cコース(上級)	34	4	11.8%	1	2.9%	29	85.3%	
2019年度	アルク500	79	11	13.9%	4	5.1%	64	81.0%	
	アルク600		6	7.6%	1	1.3%	72	91.1%	
	アルク730		2	2.5%	1	1.3%	76	96.2%	
	Brains初級	12	3	25.0%	2	16.7%	7	58.3%	
	Brains中級	10	3	30.0%	0	0.0%	7	70.0%	
2018年度	Brains基礎	27	5	18.5%	4	14.8%	18	66.7%	
	Brains前編	67	6	9.0%	1	1.5%	60	89.6%	
	Brains後編	40	0	0.0%	0	0.0%	40	100.0%	

※2020年度ブレインズコース

○Aコース: 初級英語入門(TOEIC300点以下)・基礎(300~400)

○Bコース: 中級英語前編(400~500)・後編(500~600)

○Cコース: 難関・英単熟語1000&リスニング(700~800以上)NEW

## (11) 外国人留学生

### 留学生交流会

2021年2月25日に留学生交流会を開催しました。国際交流課では例年、留学生対象のバスツアーを企画していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためバスツアーではなく、学内での交流会としました。今回の交流会に先立ち、2月15日にはオンライン交流セミナーを開催し、亀岡副センター長より、コムギについての講演をしていただきました。

交流会には**16名**の留学生が参加し、普段なかなか一堂に会する機会がない留学生たちの自己紹介や、今年度の授業や生活の状況、来年度以降バスツアーで行きたい場所ややりたい交流内容など、留学生の話を直接聞くことができました。今年度入学した留学生や、修了・帰国予定の留学生など、久しぶりの対面での交流でしたが、留学生たちの元気な姿を見ることができました。

外国人留学生数(27名):2020年10月1日 現在

分類	人数	出身国
学部生(休学者含む)	11名	中国、台湾、韓国
大学院生【博士】	8名	中国、台湾、タイ、カンボジア
大学院生【修士】	4名	中国、モンゴル
研究生	4名	中国、マレーシア



### 2020年度留学生等チューターの活動について

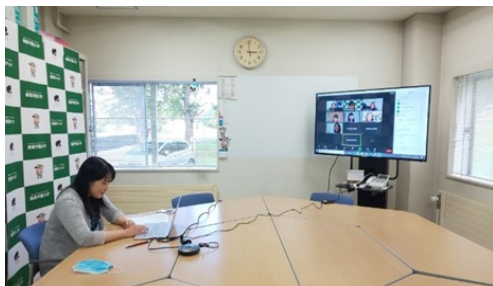
本学で学ぶ外国人留学生等が、入国・入学直後の日常生活や大学生活をスムーズに始められるように、大学が選んだ学生を「チューター」として配属し、留学生等のサポートを行っています。2020年度は前学期に**7名**、後学期に**8名**(内前学期からの継続者**5名**)を採用しました。

2020年度は新型コロナウイルスの世界的感染拡大により海外からの来訪者の受入はありませんでした。また留学生の新規入国についても制限され、3名の留学生(マレーシア2名、中国1名)が渡日待機していました。そのような中、オンラインを活用してチューターと留学生との交流ミーティング(顔合わせ)を9月29日に実施しました。

特にマレーシアの2名は4月以降長い入国制限で本学へいつ来られるかなかなか目途が立っていなかった中、9月以降全ての国・地域から順次、新規入国が認められることとなったため、来日の前に留学生とチューター、国際交流課で初めて顔合わせをすることができました。

まず初めに全員の自己紹介を行い、次に国際交流課からチューターがどんなサポートが可能かを説明しました。酪農学園大学や江別市の紹介も行い、意見交換では大学のソフトクリーム、留学生の滞在期間、好きな日本食や周辺アパートについての情報交換がなされました。

顔合わせはほぼ英語で行われましたが、時々留学生から日本語での発言もあり、終始和やかな雰囲気で行われました。その後留学生の入国後はスムーズにチューターによるサポートが行われ、留学生の不安を和らげることができました。



	採用人数	実績		
		稼働人数	内容	時間
2020年度前学期	7	—	—	—
2020年度後学期	8(5名継続)	4	空港ピックアップ、入居サポート、市役所手続き、口座開設	15.5
2019年度前学期	6	2	学内施設案内、市役所手続き、不動産契約等	33.5
2019年度後学期	6	1	研究成果まとめ補助作業	22
2018年度前学期	6	3	キャンパスツアー、市役所手続き、口座開設、買い物等	15
2018年度後学期	2	—	—	—

## (12) 外国人留学生奨学金採用状況

年度	奨学団体	学習奨励費 (一般枠)		酪農育英会 (新規)		酪農育英会 (継続)		HIECC	ロータリー米山 記念奨学会		平和中島財団		共立国際交流 奨学財団	
		大学院	大学	大学院	大学	大学院	大学	大学院	大学院	大学	大学院	大学	大学院	大学
2020年度	推薦枠	5*		-	-	-	-	2	3		1	1	1	1
	申請数	1	4	-	-	-	-	2	4	1	4	4	1	2
	推薦数	1	3	-	-	-	-	2	2	1	1	1	1	1
	採用数	1	3	-	-	3	1	2	1	0	0	0	1	0
2019年度	推薦数	1	1	2	1	3	0	1	3	0	1	1	1	1
	採用数	1	1	2	1	3	0	1	1	0	1	0	0	0
2018年度	推薦数	1	1	4	1	1	0	1	3	0	1	1	1	0
	採用数	1	1	4	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0
2017年度	推薦数	1	0	2	0	2	2	2	3	0	1	1	0	0
	採用数	1	0	2	0	2	2	2	1	0	0	0	0	0
2016年度	推薦数	1	0	2	1	2	1	2	3	0	1	1	1	1
	採用数	1	0	2	1	2	1	2	1	0	0	0	0	0
2015年度	推薦数	1	0	3	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1
	採用数	1	0	3	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0
2014年度	推薦数	1	1	2	1	2	0	2	3	0	1	1	1	1
	採用数	1	1	2	1	2	0	1	1	0	0	0	0	1
2013年度	推薦数	1	1	2	0	5	0	3	2	0	1	0	1	0
	採用数	1	1	2	0	5	0	2	1	0	0	0	0	0
2012年度	推薦数	1	1	6	0	2	1	3	2	0	1	0	0	0
	採用数	1	1	5	0	2	1	2	0	0	1	0	0	0
2011年度	推薦数	1	1	3	1			2	2	0	1	1	1	
	採用数	1	1	3	1			2	1	0	0	0	0	
2010年度	推薦数	2	1	3	1	1	1	1	2	0	1	0		
	採用数	2	1	3	1	1	1	1	0	0	1	0		
2009年度	推薦数			1	3	1	1	1	2	0				
	採用数			1	3	1	1	1	1	0	1			
2008年度	推薦数			1	1	1	1	1						
	採用数			1	1	1	1	1						

※ 特別追加採用枠

## (13) ホームページの多言語化対応について

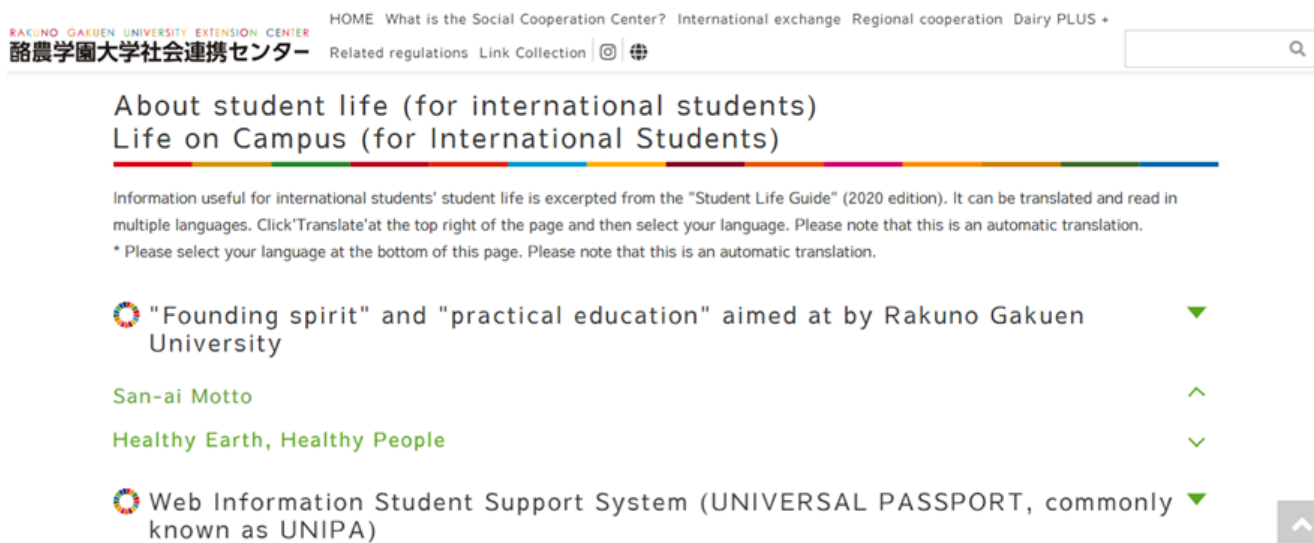
本学で学ぶ外国人留学生や海外からの入学希望者、また協定機関などからのホームページアクセスを容易にし、留学した学生の報告書など有益な情報を多言語でリアルタイムに共有することを目的として、社会連携センターホームページに多言語翻訳機能(自動翻訳)を搭載しました。

また在学留学生が学生生活に必要な情報を自分の言語で得られるように、「学生生活の手引き」(2020年度版)からの抜粋情報を、同じく社会連携センターホームページ内に掲載しました。留学生は自動翻訳機能を使って読むことができます。

ホームページ下部で言語選択(約100種類の言語)



### 英語に自動翻訳した「学生生活について(留学生用)」ページ



## (14) JICA(独立行政法人国際協力機構)

### ① 研修員等受入実績

年度	受入学類	教員	出身国	人数	種別	研修テーマ	期間
2020	環境	金子	—	—	集団研修 (課題別研修)	「森林等自然資源の持続可能な利用とバリューチェーン強化」および「森林リモートセンシング」における研修教材作成	11/15-1/19
	環境	金子	ブラジル	1	日系研修	長期:リモートセンシング技術による農地、森林、環境資源管理とモニタリング	12/1-1/29
	食と健康	石井	ドミニカ共和国	1	日系研修	長期:食品科学と栄養管理	12/1-1/19
2019	環境	金子	4か国(カメルーン、ソロモン、チュニジア、ミャンマー)	5	集団研修 (課題別研修)	「市場メカニズムを活用した持続的森林・自然資源管理コース」	8/26-10/9
	環境	金子	5か国(カメルーン、ガボン、ケニア、パプアニューギニア、ペルー)	6	集団研修 (課題別研修)	「森林リモートセンシングコース」	5/13-6/28
	環境	金子	パラグアイ	1	日系研修	長期:GIS・GPS・リモートセンシング技術による農地・森林評価及び野生動物生息地の管理手法	5/20-2/28
	環境	金子	ブラジル	1	日系研修	短期:リモートセンシング技術による農地、森林、環境資源管理とモニタリング	5/20-6/28
	獣医	蒔田	ウガンダ	3	ムバララ県庁畜産事務官、酪農家	JICA草の根「ムバララ県安全な牛乳生産支援プロジェクト」受入研修	4/14-4/23
2018	環境	金子	6か国(ウガンダ、カメルーン、ケニア、パプアニューギニア、フィジー、マラウイ)	6	集団研修 (課題別研修)	「森林リモートセンシングコース」	8/20-10/5
	環境	金子	6か国(ウガンダ、ケニア、チュニジア、ブラジル、ホンジュラス、レバノン)	6	集団研修 (課題別研修)	「市場メカニズムを活用した持続的森林・自然資源管理コース」	5/14-6/22
	環境	金子	ブラジル	1	日系研修	「GIS・GPS・リモートセンシング技術による農地・森林評価及び野生動物生息地の管理手法」	5/22-3/1
	食と健康	石井	ブラジル	1	日系研修	「食品科学と栄養管理」	5/22-3/1

### ② 事業実施実績

実施年度	対象国	事業名	学類	教員	プロジェクト名
2018~2022	ソロモン	技術協力事業	環境	金子	ソロモン国持続的森林資源管理能力強化プロジェクト(国際航業株式会社との共同企業体協定)
2016~2019	ウガンダ	草の根技術協力事業(草の根パートナー型)	獣医	蒔田	ムバララ県安全な牛乳生産支援プロジェクト
2012~2016	マレーシア	草の根技術協力事業(草の根パートナー型)	環境	金子	キナバタンガン川下流域の生物多様性保全のための住民参加型村おこしプロジェクト

### ③ その他

2019年8月21日、本学とJICAとが、ウガンダ国における安全な牛乳生産力の向上支援のため、2024年12月までの5年間学生等を海外協力隊として派遣する連携覚書を締結しました。

2020年度は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響により**全世界への協力隊派遣が一時中断**となったため、大学連携によるウガンダへの協力隊派遣について本学とJICA(JICA北海道、JICAウガンダ事務所、JICA青年海外協力隊事務局)とで**オンラインミーティングを2回**(7月8日、11月5日)実施しました。

## (15) 青年海外協力隊派遣実績

酪農学園大学卒業生の青年海外協力隊派遣実績

2020年12月現在

	獣医・衛生	家畜飼育	環境教育	コミュニケーション開発	野菜栽培	理科教育	畜産・乳製品加工	飼料作物	農業協同組合	食用作物・稲作栽培	食品加工	農業機械	きのこ栽培	土壌肥料	家政・生活改善	栄養士	公衆衛生	感染症・エイズ対策	統計	花き栽培	病虫害対策	マーケティング	青少年活動	視聴覚教育	幼児教育	生態調査	動物学	ソーシャルワーカー	その他	合計
循環農学類 (旧酪農学科、農業経済学科、短大含む)		62	1	5	11	5	6	6	5	4	1	3	2	1	1		1		1	1	1			1		1		1	1	121
食と健康学類 (旧食品科学科、食品流通学科含む)		2				2	4				3					2	1													14
環境共生学類 (旧経営環境学科、地域環境学科、生命環境学科含む)				14	4													1												23
獣医学類 (獣医学科含む)	61	4	1	2		1												1					1				1			72
獣医保健看護学類																														0
大学院	34	4	2											1	1															43
合計	95	72	18	11	11	11	10	6	5	4	4	3	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	273

※2020年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により全世界への協力隊派遣が一時中断、派遣中の隊員も一時帰国となりました。

## (16) 日本学術振興会(JSPS)学術国際交流事業

日本学術振興会が実施する国際的な研究活動を支援する事業について、2020年度は以下の5つの事業に対して合計9件の申請を行いました。

### 2020年度日本学術振興会国際交流事業申請一覧

事業内容	申請計	採用	不採用
二国間交流事業	1	0	1
外国人特別研究員(一般)【P】	4	0	4
外国人招へい研究者(長期)【L】	2	0	2
外国人招へい研究者(短期)【S】	1	0	1
論文博士号取得希望者に対する支援事業	1	0	1
合計	9	0	9



## (17)北海道アルバータ酪農科学技術交流協会

○2020年度北海道社会貢献賞(国際交流・協力功労者)を受賞しました。

国際交流・親善及び協力の推進に貢献し、その功績が顕著な個人、団体、企業を表彰するもので、46年以上にわたるアルバータ州との交流の功績が讃えられました。

2021年3月25日に北海道庁にて表彰式が行われ、副知事から谷山会長に表彰状と楯が手渡されました。



○理事会、定期総会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面での開催となりました。

○新型コロナウイルス感染拡大の影響により現地に派遣はできませんでしたが、新たにアルバータ大学オンライン留学プログラムが行われ、プログラムの成績上位者に奨学金(5万円)を支給しました。



夏季参加者への修了証授与式



春季参加者への修了証授与式

○2021年3月29日、アルバータ協会と業務委託契約を結び、学生派遣時のサポート業務に当たっていただいているアルバータ州在住の緒方明子さん(緒方コープ)と、現在のアルバータ州の状況や今後のサポートについて、オンラインでミーティングを行いました。

### 佐藤貢・雪印乳業一酪農学園・アルバータ大学奨学金支給実績

	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
オンライン留学プログラム(5万円) ※2020年度開始	8	—	—	—	—
夏季研修プログラム(20万円)	—	3	2	2	7
海外農業研修サポートプログラム(20万円) ※2017年度開始	—	3	1	1	—
大学院生留学サポートプログラム(30万円) ※2017年度開始	—	0	0	1	—
高校生留学サポートプログラム(20万円) ※2019年度開始	—	1	—	—	—

## ホームページの多言語化対応について

「北海道とカナダ・アルバータ州との酪農の振興と両国民の親善を図る」という協会設立目的の達成、また有益な情報発信を多言語で行うために、協会ホームページに多言語翻訳機能(自動翻訳)を搭載しました。このことにより、世界中からのホームページアクセスを容易にし、協会活動の普及をより一層促進することができます。

### (英語に自動翻訳した協会ホームページ)

The image displays two screenshots of the Hokkaido Alberta Dairy Science and Technology Exchange Association website, showing its English translation.

**Top Screenshot: Topics Page**

Header: Hokkaido Alberta Dairy Science and Technology Exchange Association  
Navigation: HOME, History / Ayumi, Business content, Recruitment of applicants for international students, Related Links, Contact Us  
Language: English (Powered by Google Translate)

### Topics

- 2021.04.14 **Notice** 2020 University of Alberta Online Study Abroad Program (Spring) Certificate Award Ceremony
- 2021.03.26 **Notice** Received the Hokkaido Social Contribution Award
- 2021.01.01 **Notice** New Year Greetings
- 2020.10.13 **Notice** 2020 Mitsugi Sato / Megmilk Snow Brand-Rakuno Gakuen / University of Alberta Scholarship Award Ceremony
- 2020.10.07 **Study Abroad** University of Alberta Online Study Abroad Program Report

Buttons: View list, TOP

**Bottom Screenshot: Purpose and philosophy of establishing the association**

Header: Hokkaido Alberta Dairy Science and Technology Exchange Association  
Navigation: HOME, History / Ayumi, Business content, Recruitment of applicants for international students, Related Links, Contact Us  
Language: English (Powered by Google Translate)

### Purpose and philosophy of establishing the association

#### Purpose / Philosophy

This association was established in October 1973 between Hokkaido and Alberta, Canada, with the aim of promoting dairy farming and promoting goodwill between the two peoples through the exchange of dairy science and technology.

Until now, through a wide range of activities such as dispatching agricultural youth, exchanging researchers and students, and holding overseas agricultural technology seminars, we have contributed greatly to the promotion of Hokkaido dairy farming, the development of human resources who will be responsible for it, and the friendship and goodwill between the two regions. We have been fulfilling.

Buttons: TOP

## 2020年度 社会連携センター運営委員会

## 2020年度 社会連携センター STAFF

社会連携センター センター長	吉中 厚裕	センター長	吉中 厚裕
社会連携センター 副センター長	亀岡 笑	副センター長	亀岡 笑
農食環境学群 循環農学類 准教授	糸山 健介	事務次長	高山 基樹
農食環境学群 食と健康学類 教授	石井 智美	国際交流課 課長	横川 容子
農食環境学群 環境共生学類 教授	金子 正美	国際交流課 主任主事	品川 晴香
獣医学群 獣医学類 教授	萩原 克郎	国際交流課 パート職員	アルドウ 直子
獣医学群 獣医保健看護学類 教授	及川 伸	地域連携課 課長	金子 千恵
獣医学群 獣医保健看護学類 准教授 ※及川教授 後任(2020/12/1~)	郡山 尚紀	地域連携課 主任主事	可香谷 亜有美
社会連携センター 事務次長	高山 基樹	地域連携課 主事	植松 正平
社会連携センター 地域連携課 課長	金子 千恵	地域連携課 契約職員	中屋 まりな
社会連携センター 国際交流課 課長	横川 容子	地域連携課 パート職員	坂本 千尋 ※退職(~2020/10/15)

※2020年度は全6回の運営委員会を開催しました。

【本報告書に記載の職名は、2021年3月31日現在のもの】

## 2020年度 社会連携センター運営委員会 議案一覧

1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私費外国人留学生に係る2020年度前学期授業料免除学生の選考について（国際交流課）</li> <li>・酪農学園英語表記一覧の一部修正および追加について（国際交流課）</li> <li>・2019年度社会連携センター事業報告書について（社会連携センター）</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酪農ジャーナル電子版編集会議設置要領(案)について（地域連携課）</li> <li>・2020年度フィンドレー大学ベケット奨学金派遣留学生の派遣中止について（国際交流課）</li> <li>・2020年度海外招聘研究者の受け入れについて（国際交流課）</li> <li>・2020年度後学期留学生等チューターの決定について（国際交流課）</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私費外国人留学生に係る2020年度後学期授業料免除学生の選考について（国際交流課）</li> <li>・国立韓国農水産大学との学術交流協定解除について（国際交流課）</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・獣医保健看護学類選出運営委員の変更について(社会連携センター)</li> <li>・SDGsに係る取り組みについて（社会連携センター）</li> <li>・韓国食品開発研究院との学術交流協定解除について（国際交流課）</li> <li>・その他               <ul style="list-style-type: none"> <li>＊酪農フォトコンテストの報告について</li> <li>＊チカホdeマルシェ実施について</li> <li>＊イオン北海道における牛乳・乳製品販売打診について</li> </ul> </li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道科学大学・北海道科学大学短期大学部との包括連携協定の更新について（地域連携課）</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道農業協同組合中央会との相互連携協力の推進に係る連携協定の締結について（地域連携課）</li> <li>・マレーシア・サバ大学との学術交流協定の更新について（国際交流課）</li> <li>・道央農業共済組合との連携における参加型臨床実習の実施について（地域連携課）</li> </ul>

## SDGsと 社会連携センター

SDGsとは2015年に国連総会で採択された持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)を意味しており、発展途上国だけでなく先進国も取り組むべき課題とされています。SDGsと大学はとて深い関係にあります。本学は建学の精神に則ってSDGsに取り組み、世界中の課題解決に向けて努力します。



**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**  
2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

